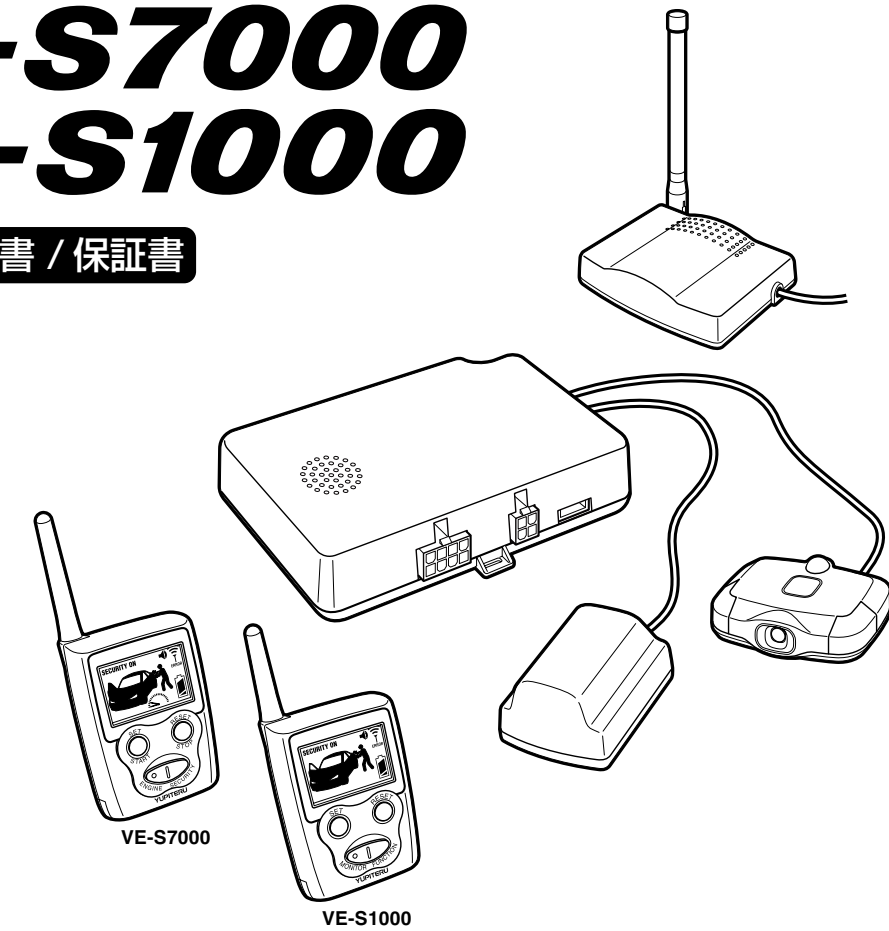




マイクロ波センサー搭載
レーダーセキュリティシステム

VE-S7000 VE-S1000

取扱説明書 / 保証書



12V車専用

このたびは、Aguilas「VE-S7000」、「VE-S1000」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、新開発デュアルエリアマイクロ波センサーを搭載したレーダーセキュリティシステムです。車輛への接近を検知するとフラッシュランプ・ハザードランプ・音声(または警告音)の3つの威嚇機能で不審者を撃退し、愛車を守ります。

デュアルエリアマイクロ波センサーは車外(警告)、車内(警報)2つのエリアを識別して、警告、警報の2段階で威嚇します。さらに、本機内蔵の音圧センサー(特許第3361294号)により、車輛への衝撃やドア開検知が可能です。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

また本機は、電波法第四条「技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当するテレコントロール用無線設備ならびに移動体検知センサー用無線設備です。



警告

取り付けには、専門知識が必要です。

取り付けは、お買い上げの販売店、またはカーディーラーにご依頼ください。
お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

取り付けできる車を、お確かめください。

本機は12V車専用機器です。

12V車以外の車輛には取り付けできません。

また、12V車であってもマイナスアース以外の車ではご使用になれません。

はじめに

ご使用の前に(安全上のご注意)	4
セット内容	6
VE-S7000/VE-S1000の概要	8
異常を検知したときの警告と警報	10
各部の名称と働き	12
警告、警報の定義	17
リモコンの準備	19
リモコンを充電する	19
リモコンの電源をONにする	19
セキュリティの作動を確認する	19

リモコンの操作方法

セキュリティを作動させる	20
警告音を鳴らさずに監視する (警告音キャンセル機能)	21
任意に警報を鳴らす(パニック警報機能)	21
接近検知時の通報音を停止する (接近通報キャンセル機能)	22
妨害電波通報機能を停止する	22
通報時のディスプレイ表示	23
セキュリティを作動させずに ドアをロックするには	24
セキュリティを解除する(警報を止める)	25
警報履歴	25
エンジンを開始させる(VE-S7000のみ)	26
エンジンを停止させる(VE-S7000のみ)	27
車の状態を確認する	28
車への乗車(VE-S7000のみ)	29

各種設定方法

セキュリティ機能の設定	30
■オールリセット	30
■操作確認を変更する	31
・操作の確認方法	31
・確認音の音量	31
・確認音の音色	31
・ステータスインジケータの点滅設定	31
■警告・警報のしかたを変更する	32
・威嚇方法	32
・ハザードランプの点滅設定	32
・警告音・警報音の音量	32

・警報音の音色	32
・警報時間	33
・誤動作判別精度	33
■セキュリティの作動に関する設定	34
・セキュリティの作動を開始する条件	34
・スタンバイ時間	34
・エンジンスターター動作時の監視設定	34
マイクロ波センサーユニットの感度調整	35
監視エリアの調整方法	35

エンジンスターター機能
の設定 (VE-S7000のみ)

セル時間の設定	36
アイドリング時間の設定	37
グロー時間の設定	38
エンジンスターターの設定	39
エンジン始動判定の設定	39
エンジンの始動について	39
ターボタイマー機能	40
ターボタイマー機能とは	40
ターボタイマー機能のON/OFF設定	40

その他

リモコンの電池交換	41
スリープモードについて	42
安全機能について(VE-S7000のみ)	43
バッテリー交換や本機の付け替え時の 再設定について(VE-S7000のみ)	44
パーキング(P)・ポジション自動検出機能 の確認	44
P・ポジション自動検出機能が使用できない 状態でターボタイマー機能を使用しな い場合の接続・設定	45
P・ポジション自動検出機能が使用できない 状態でターボタイマー機能を使用する 場合の接続・設定	45
別売オプション	46
こんなときは	48
エラー音について(VE-S7000のみ)	51
仕様	52
アフターサービスについて	54
保証書	裏表紙

セキュリティを使う

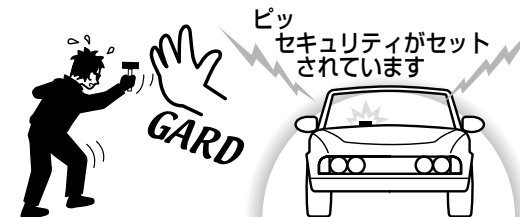
○セキュリティを作動させるには 20ページ



○セキュリティを作動させずにドアをロックするには 24ページ

○スーパーの駐車場など人の出入りが多い駐車場に
駐車する場合は 21ページ

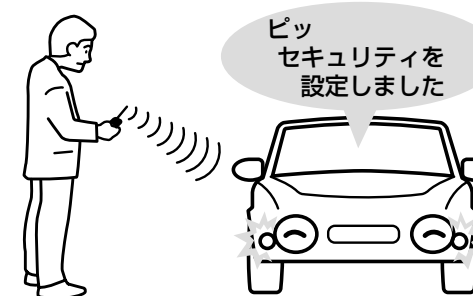
○異常を検知したときは 10ページ



○警報履歴を確認するには 25ページ

○リモコンの電池切れや故障などで、リモコンが
使用できないときにセキュリティを解除するには
..... 25ページ

操作確認を変更する



○確認方法を変更する 31ページ
○確認音の音量を変更する 31ページ
○作動確認をボイスにする 31ページ
○確認音の音色を変更する 31ページ
○ステータスインジケータを点滅させない 31ページ

警告・警報のしかたを変更する



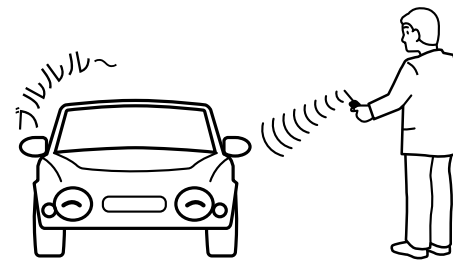
○威嚇時方法を変更する 32ページ
○ハザードランプの点滅を変更する 32ページ
○警告音・警報音の音量を変更する 32ページ
○警報音の音色を変更する 32ページ
○警報時間を変更する 33ページ
○近所迷惑に配慮したワンショット警報に設定する 33ページ

車を整備に出すときや、人に貸すときは



..... 34ページ

エンジンを始動する(VE-S7000のみ)



..... 26ページ

ご使用の前に(安全上のご注意)

※VE-S7000のみの記載がないものは、VE-S7000とVE-S1000の共通事項です。

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

⚠警告：警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う可能性があります。

⚠注意：注意を無視した取り扱いをすると、使用者が傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

絵表示について

⚠ △ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。

🚫 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

❗ ● 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

⚠警告

🚫 心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、電波による医療用機器への影響を、医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。

🚫 水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。

🚫 コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。

🚫 運転中は絶対に操作をしない…わき見運転は重大事故の原因になります。

🚫 穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない。…感電や故障の原因となります。

🚫 機器本体および付属品や別売品を改造しない。…火災や感電、故障の原因となります。

❗ 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に、確実に取り付ける…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

🚫 煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐに使用を中止して、販売店に修理をご依頼ください。

🚫 万一、ケースを破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

🚫 サービスマン以外の方は、絶対に分解したり、修理しない。また、改造はしない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

🚫 車内に人(特に子供)やペットがいるときには、本機の設定をしない…万一、警報機能が働いた場合、大音量を発生しますので、聴覚障害やストレスを与える恐れがあります。

🚫 むやみに操作ボタンを押さない…リモコンの電波は周辺環境により、思わぬ遠方まで届く場合があります。

VE-S7000のみ ⚠警告

エンジンスターター機能使用時は、以下の内容を必ず守ってください。

❗ シフトレバーは必ずパーキング(P)の位置で、パーキングブレーキをかけた状態で使用する…思わぬ事故の原因になり大変危険です。

🚫 車の近くに燃えやすいものがある場所では、使用しない…発火の恐れがあります。

🚫 車のボディカバーをかけたまま使用しない…発火や排気ガスによる中毒の恐れがあります。

🚫 お子様などを車に乗せたままでは、絶対に使用しない…室内はキーでエンジンを始動した場合と同じ状態になり、大変危険です。

❗ リモコンはお子様の手の届かない場所に保管する…お子様が勝手にエンジンを始動させてしまい、事故の原因となります。

🚫 換気の悪い車庫や屋内では、使用しない…排気ガスによる中毒の恐れがあります。

🚫 マフラーが雪で覆われるような降雪時には使用しない…排気ガスが車内に充満して大変危険です。

❗ 必ずボンネットが閉まっている状態で使用する…エンジン部の作業中にエンジンが始動すると、大変危険です。

🚫 暖気運転の直後にエンジン点検などを行わない…火傷をする恐れがあります。エンジン停止後、少なくとも5分以上経過した後、十分注意して行ってください。

❗ 思わぬ事故を防ぐために、次のような場合は、リモコンの電池を抜いておく、もしくはリモコンの電源をOFFにしてください…

- ボンネットを開けるとき
- 整備や車検などで車を第三者に預けるとき
- 本機の使用方法を理解されていないかたが運転するとき
- 長期間、車を使用しないとき

❗ 走行するときは、いったん本機でエンジンを停止させ、必ずキーで再始動する
本機でエンジンを始動させた状態では走行できません…エンジンが作動している状態でのキーの誤操作はセルの再飛び込みなど車を傷める危険があるばかりでなく、思わぬエンジンの停止や、ハンドルロック未解除のままの発進など、車の安全装置が動かないままで動き出すなどの事態をまねく危険性があります。

🚫 エンジンスターター始動中はシフトロック解除機能等による通常の運行操作以外でシフト操作をしない…エンジンスターターの安全機能が働かず、思わぬ事故につながる場合があります。

❗ 車輦の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用する

❗ あらかじめ駐車時には以下のことを守る

- ワイパー、ラジオ(オートアンテナ車の場合)を切ってください。エンジン始動を行ったときに動きだすので危険です。また凍結した場合、モーターが損傷する恐れがあります。
- すべての窓を閉めてください。
- すべてのドアを施錠(ロック状態)してください。
- 坂道や傾斜地でご使用になるときや、冬期でパーキングブレーキを解除して使用するときは、必ず輪止めをしてください。

ご注意 使用上の制限

■ 使用するときには、必ず車のウィンドウを完全に閉めてください。ウィンドウが開いていると、ドア開を正しく検知できません。

■ 強い雨や雹(ヒョウ)などが降ったときや、雨だれが車体にかかっているときには、ウィンドウやボディへの衝撃を検知して警報する場合があります。また、地下駐車場など空調ファンの振動や音が発生している場所や、その他の振動や騒音が発生している場所では、本機のセンサーが動き、警報することがあります。このような場合は、センサー感度を調整してお使いください。

■ 本機のリモコンは、ラジオの送信所やテレビ塔、NTTのアンテナタワーなど強電界となる付近では、通信範囲が狭くなったり、リモコン操作ができにくくなる場合があります。

■ 車輦の窓ガラスにウィンドウフィルムが貼ってある場合、そのフィルムの材質によっては、接近検知ができなくなったり、感度が低下する場合があります。

■ ウィンドウに雪が積もっていると、接近を検知できにくい場合やできないことがあります。

■ 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用する、影響を与えたり、受けたりすることがあります。

● ワイヤレスドアロックシステムやキーレスエントリーシステム装備車では、エンジンが始動しているときドアのロック/アンロックができないことがあります。このようなときは、キーで操作してください。

VE-S7000のみ

● ターボタイマー機能は、ご使用になる車輦により、まれに正常に働かないことがあります。

● イグニッションキースイッチのパラツキが大きく、エンジンスターターで始動したときセルがホールドする車輦では使用できません。

- 市販のターボタイマーと併用することはできません。
- オートクルーズシステム搭載車や電動チルトステアリング・マイコンプリセットのドライビングポジションシステム装備車では、まれにこれらの機能が正常に動作しなくなることがあります。

■ 公道上で、エンジンをかけたまま車を放置することは、道路交通法違反となります。必ず私有地で使用してください。

※公道とは、不特定多数の車が出入りできる場所を含みます。



ご注意 電波法について

■ リモコン、マイクロ波センサーユニットや、通信ユニット裏の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。

■ 海外では使用しないでください。

■ 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

ご注意 リモコンの取り扱いについて

■ リモコンに、落下などの衝撃を与えないでください。

■ リモコンを、水につけたり、雨水などで濡れたりすることのないようにしてください。

■ リモコンは、お子様の手の届かない場所に保管してください。

■ リモコンは、次のような場所に放置しないでください。

- 暖房器具の近くなど、温度の高くなる場所。
- 直射日光の当たる自動車内など、温度の高くなる場所。
- 湿度の高い場所や、風通しの悪い場所。
- ホコリや油煙の多い場所。
- 非常に温度の高い場所。
- 電気製品などの近く。

■ リモコンが汚れたときは、やわらかい布でふいてください。ポリエステルなど静電気の起きやすいもの、またベンジン、シンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。

ご注意 コンライトキャンセル機能について (VE-S7000のみ)

■ コンライトキャンセル機能を配線していない場合

オートライトコントロールシステムやコンライトシステム搭載車*で、夜間に本機を使用するときは、ライトスイッチを「OFF」にしておいてください。「AUTO」の状態では本機によりエンジン始動をした場合、ライトが点滅して、エンジンが停止したあとも消灯しません。

※暗くなると自動的にライトが点滅するシステム。エンジンが停止したあと、降車のためにドアを開閉することでライトが消灯します。

ご注意 スリープモードについて

本機は、14日間エンジンが始動(ACC、またはONの検出)されないと、バッテリー保護のためスリープモードが働きます。スリープモードが働いているときは、監視、警報動作などすべての機能を停止して本機リモコンによるドアロック/アンロック操作ができなくなります。

※定期的に車を走行させ、バッテリーの充電を心がけてください。

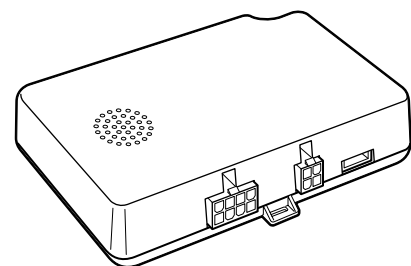
※長期間、車を使用しない場合はセキュリティを解除しておくか、定期的にエンジンを始動して、車輦のバッテリー上がりにご注意ください。

本機を取り付けたことによる、車輦や車載品の故障、事故等の付随的障害については、一切その責任を負いません。

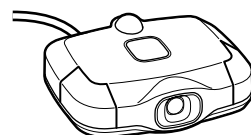
セット内容

接続前に、セットの内容をお確かめください。

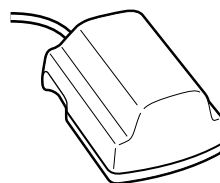
※()内の数字は個数を表します。
※ワーニングステッカーは、自動車の前面
ガラスおよび運転席の側面ガラスには貼り
付けないでください。(車輛の安全基準)



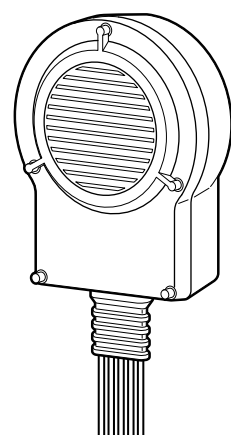
●メインユニット (1)



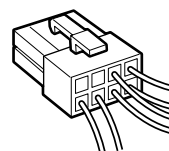
●フラッシュユニット (1)



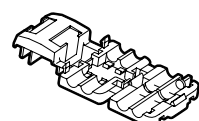
●マイクロ波
センサーユニット (1)



●ボイスユニット (1)



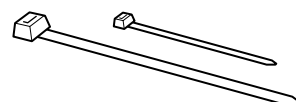
●センサーハーネス1 (1)



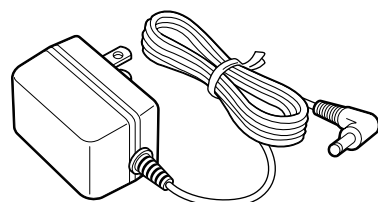
●エレクトロタップ
VE-S7000... (6)
VE-S1000... (4)



●コードクリップ (4)



●タイラップ
VE-S7000... (大4、中6、小1)
VE-S1000... (大2、中5)



●ACアダプター (1)



●ニッケル水素電池 (1)
※リモコンに内蔵されています。

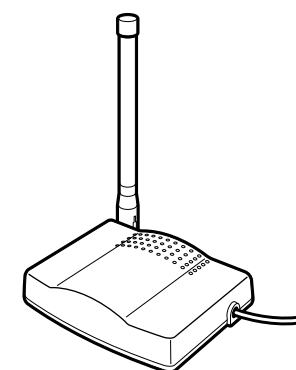
- キーレスエントリー線 (1)
- ドアスイッチ接続延長コード (1)
- センサーユニット取付用サンバイザークリップ (1)
- 通信ユニット取付用サンバイザークリップ (1)
- 調整ドライバー (1)
- リモコン用ホルダー (1)
- リモコン用リング (1)
- フラッシュユニット取付用マジックテープ (1)
- ボイスユニット延長コード (1)
- ワーニングステッカー (1)
- 取扱説明書/保証書 (1)
- 取付・接続説明書 (1)

- ボイスユニット取付用付属品
 - ・ブラケット (1)
 - ・取付ステイ (1)
 - ・M6ボルトセット (2)
 - ・M5ネジ (2)
 - ・スペーサー (2)

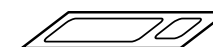
VE-S7000のみ



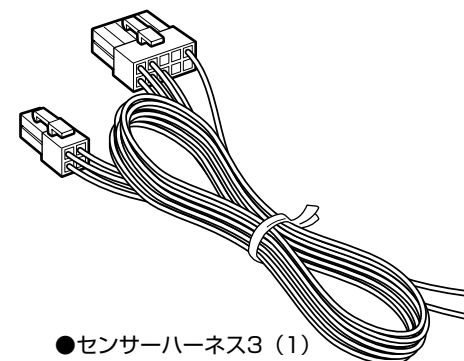
●リモコン (1)



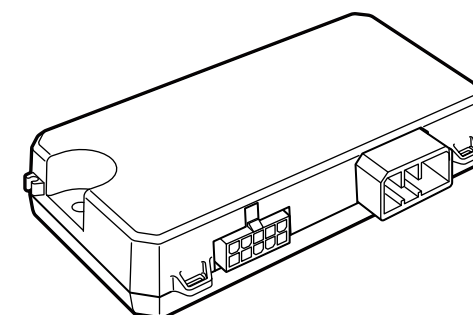
●通信ユニット (1)



●ご注意ステッカーシート (1)



●センサーハーネス3 (1)

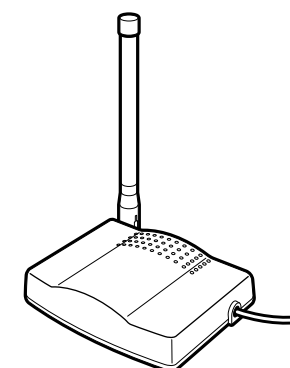


●スターターユニット (1)

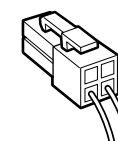
VE-S1000のみ



●リモコン (1)



●通信ユニット (1)

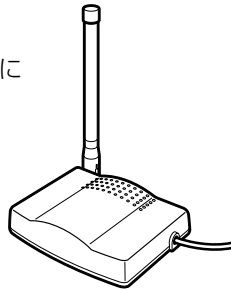


●センサーハーネス2 (1)

VE-S7000/VE-S1000の概要

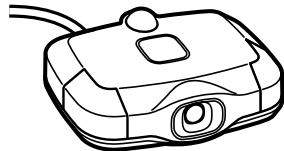
●通信ユニット

車輛の異常をリモコンにお知らせします。



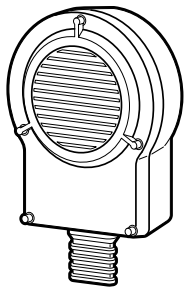
●フラッシュユニット

あたかもカメラで撮影された印象を与えるフラッシュランプで威嚇します。



●ボイスユニット

最大100dBの大音量サイレンです。
日本語で警告、サイレン音で警報します。



●ハザードアンサーバック・威嚇機能内蔵

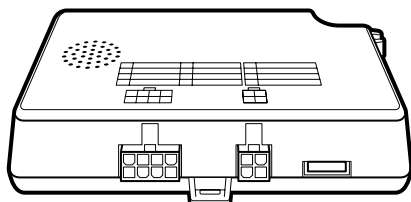
セキュリティの作動・解除をハザードランプの点滅(1回/2回)でお知らせします。
また異常発生時は、連続した点滅で威嚇します。

※セキュリティの作動・解除や異常検知時に車輛のハザードランプを点滅する/しないを選択できます。(32ページ参照)

●メインユニット(音圧センサー)

衝撃、ドア開を検知します。

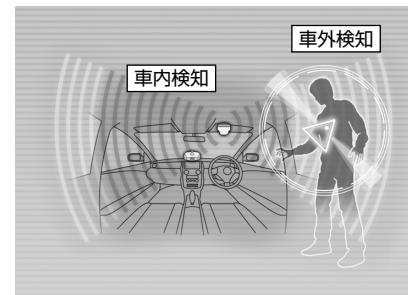
わずかな気圧の変化を検知して、マイクロ波センサーとの組み合わせにより、ドア開を検知します。また、車輛の小さな衝撃、大きな衝撃を判別して警告・警報します。



●マイクロ波センサーユニット

不審者の接近、車内侵入を検知します。

本機デュアルエリアマイクロ波センサーは、総務省の定める、電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当する移動体検知センサー用無線設備の認証を取得した、優れた移動体検知センサーです。
マイクロ波を利用したドップラー効果によって、センサー周辺(車輛周辺)の移動物を検知します。さらに、車内、車外の2つのエリアを個別に検知できるダブルガード方式を採用しました。内蔵のツインアンプにより、車内侵入、ドア開の検知で警報することはもちろん、車に近づく移動体を検知し、警告しますので、被害を受けずに犯罪を未然に防止できます。



オプション

別売オプションにより、さらにシステムアップできます。

検知能力をアップしたい

ジャッキアップやリフトアップされた場合にも警報を鳴らしたい場合は

●電子傾斜センサー：A-28SF

ボンネットを開けられた場合にも警報を鳴らしたい場合は

●ボンネットスイッチ：A-29SF

車内侵入を絶対に阻止したい！ 二重の安心には

●ドアスイッチ接続線セット：A-30SF

車輛盗難の対策もしたい

模造キーなどにより、エンジンの始動をできないようにしたい場合は

●無線イモビライザー：A-23SF

警報能力をアップしたい

さらに大音量で警報を鳴らしたい場合は

●大音量サイレン：A-26SF

さらに大音量で、万一のボイスユニットの破壊やサイレンの切断で警報を鳴らしたい場合は

●バックアップサイレン：A-27SF

●ドアスイッチ接続線

マイクロ波センサーでドア開を検知できないドアやトランクなどに接続できます。

— 日頃から防犯をお心がけください —

本機は、車に加えられた異常を検知して警告または警報する装置です。そのため、盗難やイタズラに対して常に万全ではありません。日頃から防犯をお心がけください。

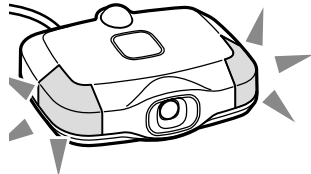
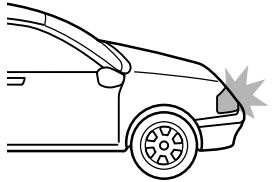
- 1 エンジンキーをつけたままの状態、車から離れない。
- 2 車から離れるときは、すべてのドアがロックされていることを、必ず確認する。
- 3 駐車中は、すべてのウィンドウを完全に閉める。
- 4 車内に貴重品を置かない。貴重品でなくとも、目につく物はできる限り置かない。
- 5 駐車するときは、できるだけ「明るい」、「人通りのある」場所を選ぶ。

異常を検知したときの警告と警報

監視中に車輦への接近、衝撃、ドア開などの異常を検知したときには、次のような警告・警報をボイスユニットから発します。

※警報音は車室内のメインユニットとボイスユニットから鳴ります。

※下記は、工場出荷時の設定での動作を示したものです。
※  は、警告音キャンセル機能を設定した場合の動作です。

	警 告			警 報				
	車輦への接近 ※ 誤動作判別精度(33ページ参照)で「精度高」または「最高精度」を選択している場合は、接近検知があっても警告を鳴らしません。	車輦周辺でのうろつき	小さな衝撃	大きな衝撃 (ウィンドウの破壊など)	ドアを開けられたとき	車内侵入	傾斜検知 (別売オプションA-28SF:電子傾斜センサー接続時)	ボンネットを開けられたとき (別売オプションA-29SF:ボンネットスイッチ接続時)
フラッシュランプ 	1回点滅 ※ フラッシュランプを点滅させないこともできます。 (「威嚇方法」32ページ参照)	2回点滅 ※ フラッシュランプを点滅させないこともできます。 (「威嚇方法」32ページ参照)	2回点滅 ※ フラッシュランプを点滅させないこともできます。 (「威嚇方法」32ページ参照)	警報中連続して点滅	警報中連続して点滅	警報中連続して点滅	警報中連続して点滅	
ハザードランプ 	※ ハザードランプを点滅させることもできます。 (「ハザードランプの点滅設定」32ページ参照)	※ ハザードランプを点滅させることもできます。 (「ハザードランプの点滅設定」32ページ参照)	※ ハザードランプを点滅させることもできます。 (「ハザードランプの点滅設定」32ページ参照)	警報中連続して点滅 ※ ハザードランプを点滅させないこともできます。 (「ハザードランプの点滅設定」32ページ参照)	警報中連続して点滅 ※ ハザードランプを点滅させないこともできます。 (「ハザードランプの点滅設定」32ページ参照)	警報中連続して点滅 ※ ハザードランプを点滅させないこともできます。 (「ハザードランプの点滅設定」32ページ参照)	警報中連続して点滅 ※ ハザードランプを点滅させないこともできます。 (「ハザードランプの点滅設定」32ページ参照)	
警告音 	『ピッ』 『セキュリティがセットされています』 ※ 警告音を鳴らさないこともできます。 (「威嚇方法」32ページ参照)	『ピピッ』 『接近を検知しました』 ※ 警告音を鳴らさないこともできます。 (「威嚇方法」32ページ参照)	『ピピッ』 『衝撃を検知しました』 ※ 警告音を鳴らさないこともできます。 (「威嚇方法」32ページ参照)	『ピピピッ』 『衝撃を検知しました。通報します』	『ピピピピッ』 『異常事態発生』	『ピピピピッ』 『不法侵入を検知しました』	『ピピピッ』 『傾斜を検知しました。通報します』	
警報音 別売オプションA-26SF:大音量サイレンやA-27SF:バックアップサイレンを接続していると、付属サイレンの警報時にオプションの大音量サイレンやバックアップサイレンを鳴らし、より効果的な威嚇ができます。				『キューキュー』が30秒間 ※ 警報時間は「ワンショット」「30秒」「60秒」「120秒」から選択できます。 (33ページ参照)	『キューキューキュー』が30秒間 ※ 警報時間は「ワンショット」「30秒」「60秒」「120秒」から選択できます。 (33ページ参照)	『キューキューキュー』が30秒間 ※ 警報時間は「ワンショット」「30秒」「60秒」「120秒」から選択できます。 (33ページ参照)	『キューキューキュー』が30秒間 ※ 警報時間は「ワンショット」「30秒」「60秒」「120秒」から選択できます。 (33ページ参照)	『キューキューキュー』が30秒間 ※ 警報時間は「ワンショット」「30秒」「60秒」「120秒」から選択できます。 (33ページ参照)
リモコンの表示						※ リモコンへの通報はありません。		

リモコン (特定小電力式)

本機機能の作動・解除(停止)や各機能の設定ができます。

VE-S7000

- アンテナ
- SET/STARTボタン
セキュリティを作動して、ドアをロックできます。
※一部の車種では、セキュリティの作動操作でドアロックができません。
- ENGINEボタン
エンジンの始動、停止、車種状態の確認ができます。
- スピーカー
- 充電ジャック
- ディスプレイ
車種の状態や作動状態を液晶で表示します。(13ページ参照)
バックライト機能搭載
- 電池カバー (背面)
- RESET/STOPボタン
セキュリティを解除して、ドアをアンロックできます。
※一部の車種では、セキュリティの解除操作でドアアンロックができません。
- SECURITYボタン
リモコンの電源ON/OFFやパニック警報機能、通報機能の設定ができます。

VE-S1000

- アンテナ
- SETボタン
セキュリティを作動して、ドアをロックできます。
※一部の車種では、セキュリティの作動操作でドアロックができません。
- MONITORボタン
車種の状態が確認できます。
- スピーカー
- 充電ジャック
- ディスプレイ
車種の状態や作動状態を液晶で表示します。(13ページ参照)
バックライト機能搭載
- 電池カバー (背面)
- RESETボタン
セキュリティを解除して、ドアをアンロックできます。
※一部の車種では、セキュリティの解除操作でドアアンロックができません。
- FUNCTIONボタン
リモコンの電源ON/OFFやパニック警報機能、通報機能の設定ができます。

※本書、文中内の操作説明はVE-S7000のボタン名称を記載して()内にVE-S1000のボタン名称で記載しています。
またVE-S7000のSET/STARTボタンは「SET」、RESET/STOPボタンは「RESET」の表記で統一しています。

ディスプレイの表示内容

電波表示

- リモコンからの送信・受信状態を表示します。
- 送信表示
電波マークが外側へ向けて2回点滅します。
- 受信表示
電波マークがアンテナに向けて2回点滅します。

- セキュリティ監視中、車種からの受信状態を表示します。
- 圏内…電波マーク点灯 圏外…電波マーク消灯

※妨害電波などにより通信異常が発生した場合は、「ピーー」と連続して最大10秒間鳴ります。
※移動して通信範囲外にでた場合は、電波表示が消え、「プププププ」(プガ4回)と鳴ります。(圏外アラーム)

接近通報表示

セキュリティ監視中の接近検知通報する/しないを表示します。

- スピーカマーク 接近通報マーク
- 接近検知を通報する
接近通報マーク点灯
- 接近検知を通報しない
接近通報マーク消灯
- リモコンの電源をONにすると、左記いずれかが表示されます。(19ページ参照)
- リモコンの電源をOFFにすると、スピーカマークは消灯します。(22ページ参照)

妨害電波通報表示

ACアダプター接続(充電中)状態で、セキュリティが作動していると、妨害電波等による受信信号の遮断を、リモコンの妨害電波アラーム「ピーー」が10秒間鳴り、お知らせします。

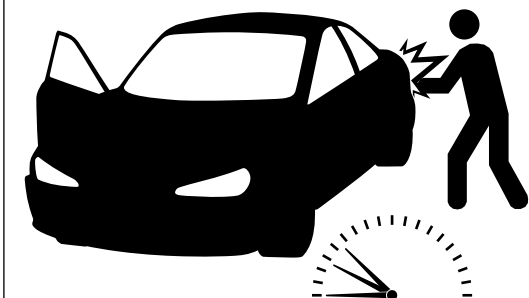
※周囲の電波状態によっては、妨害電波以外でアラームが鳴る場合があります。このような場合は、窓際など電波の受信が安定している場所にリモコンを移動するか、妨害電波通報機能を停止してご使用ください。

- 妨害電波通報設定時…アンテナマーク点灯
- 妨害電波通報停止時…アンテナマーク消灯

セキュリティ状態表示

セキュリティの作動・解除の状態を表示します。また、SECURITY ON表示中は、リモコンが通報待ち受け状態にあることを示します。
セキュリティ作動中 (20ページ参照)
SECURITY ON
セキュリティ解除時は消灯します。(25ページ参照)

SECURITY ON



ERROR

通信エラー表示

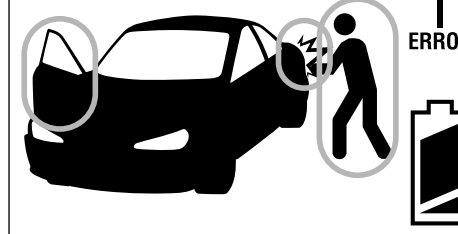
通信の失敗をすると、エラーマークを点滅します。

ERROR

異常表示

車種の異常状態を人、衝撃、ドアの各マークを点灯してお知らせします。(23ページ参照)

SECURITY ON



ERROR

エンジンスターター表示 (VE-S7000のみ)

本機でのエンジン始動・停止状態を表示します。(26ページ参照)

アイドリング状態表示
2本の針が交互に点滅して、エンジンの始動をお知らせします。

停止状態表示
(27ページ参照)

バッテリー残量表示

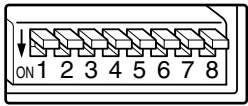
バッテリーの充電容量を表示します。

十分なときの表示
少ないときの表示
充電中は、点滅します。

(19ページ参照)

メインユニット (車載機)

●ディップスイッチ



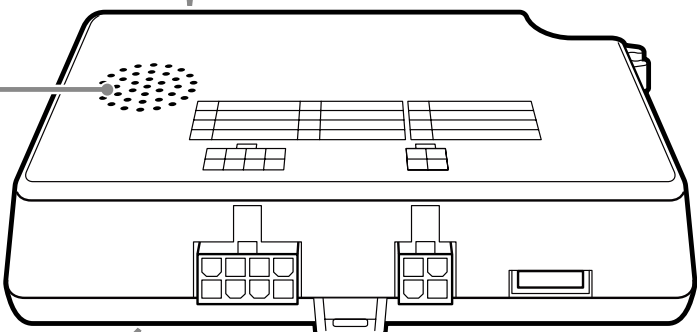
OFF
ON

No.	スイッチ機能
1	未使用 OFFでご使用ください
2	ドアロック時の動作
3	ACC ON時のキーレス動作
4	ドアスイッチ動作論理
5	傾斜センサー接続
6	リロック機能
7	オートキーレスシステム接続
8	テストモード OFFでご使用ください

※取付店で設定します。
※工場出荷時はすべてOFF側に設定されています。

●ブザー

各種機能設定時の設定音やセキュリティの作動確認音を出力します。



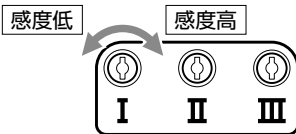
コネクター-1

コネクター-2

コネクター-3

●音圧センサー (裏面)

ボディ、ウィンドウへの衝撃やドア開時のわずかな気圧変化を検出します。メインユニットの3つのボリュームでセンシングごとの感度調整ができます。

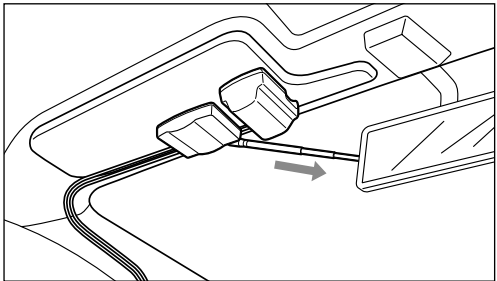
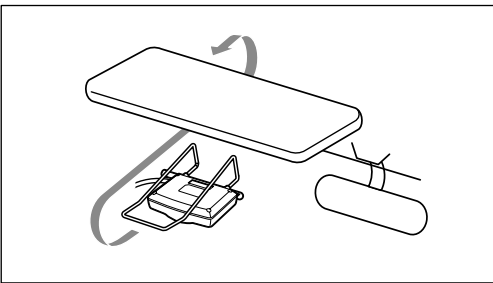
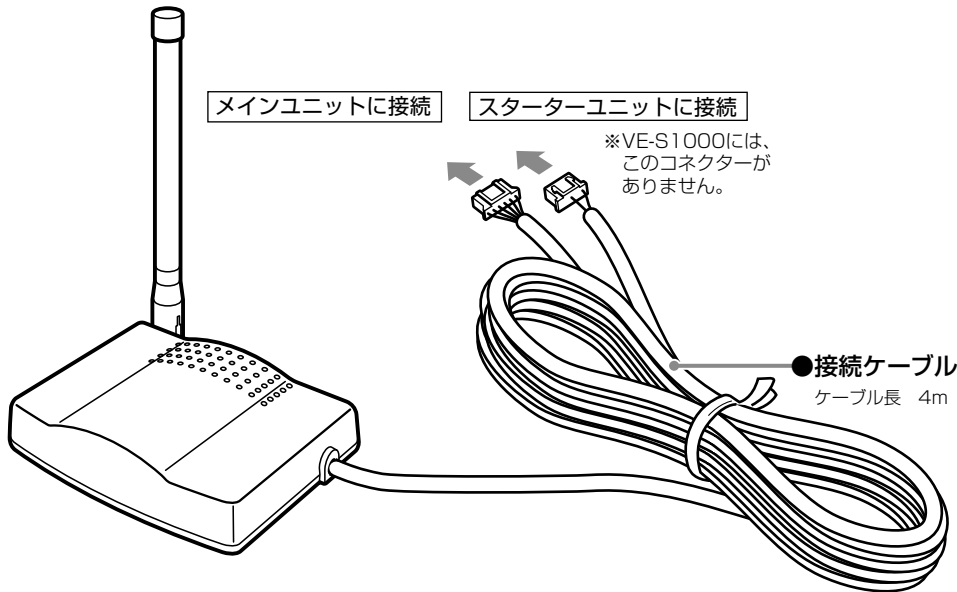


I	小さな衝撃
II	ウィンドウの破壊など大きな衝撃
III	ドア開感知

※取付店で調整します。
※通常のご使用では調整する必要はありません。

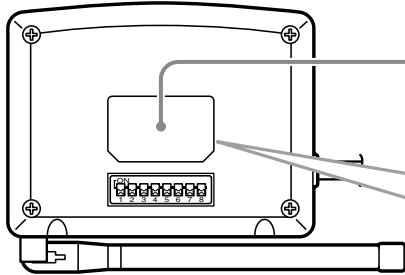
通信ユニット (車載機)

VE-S7000とVE-S1000の通信ユニットは、裏面のディップスイッチが異なります。



通信ユニットは、運転席または助手席方向にアンテナを引き出し、水平から約30度くらいまでのアンテナ角度で使用してください。
※運転席方向に30度くらいの角度をつけた取り付け方法は、助手席方向やアンテナを水平に取り付けた場合に比べ、比較的通信距離を伸ばすことができます。(車輦の形状や周囲の環境によって異なることがあります)
※アンテナの角度を決定したら、走行中、セキュリティ作動時を問わず、極力角度は変えないようにします。(アンテナの角度は、通信距離に影響します)

●VE-S7000 (裏面)



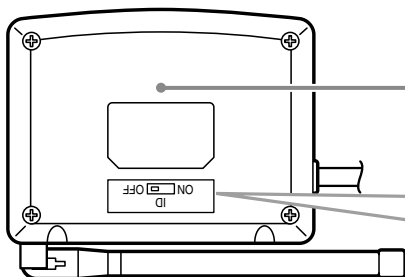
※技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。
はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。

ディップスイッチ

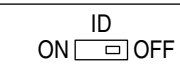


No.	スイッチ機能	工場出荷時
1	セル時間、アイドリング時間、	OFF
2	グロー時間設定	OFF
3	ターボタイマー設定	OFF
4	エンジン始動判定設定	OFF
5		OFF
6	未使用	OFF
7	※OFFでご使用ください。	OFF
8		OFF

●VE-S1000 (裏面)



リモコン登録用
スライドスイッチ
※通常時はOFFにしてください。

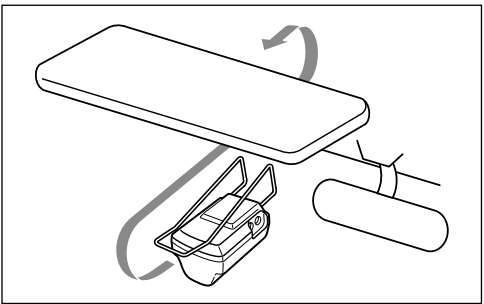
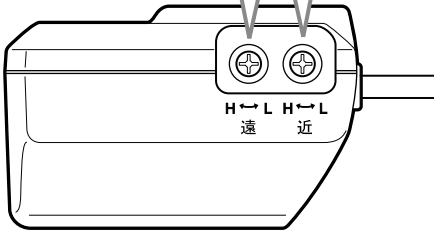


マイクロ波センサーユニット (車載機)

車外(遠)・車内(近)2つのエリアで、車輻への接近やドア開、車内侵入を検知します。

●車外検知調整ボリューム
車輻への接近やドア開を検知するための調整ボリュームです。

●車内検知調整ボリューム
車内侵入を検知するための調整ボリュームです。



※ マイクロ波センサーユニットの取り付け場所を変更したときは、監視エリアの調整が、再度必要となる場合があります。(35ページ参照)

※付属のサンバイザークリップで、サンバイザーに取り付けて使用します。
※右ハンドル車は助手席サンバイザー中央寄りに、左ハンドル車は運転席サンバイザー中央寄りに取り付けると、車外検知が左右均等に検知しやすくなります。

フラッシュユニット

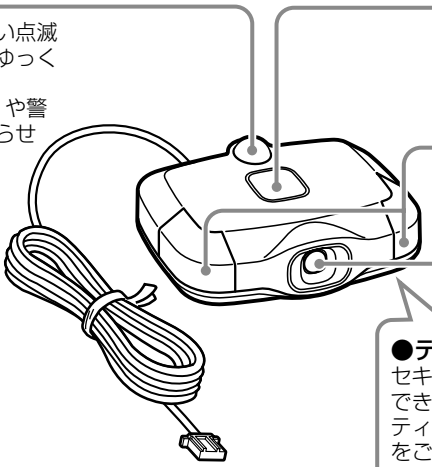
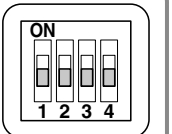
●ステータスインジケータ
スタンバイ時間(34ページ)中は速い点滅(1秒間に2回)をします。監視中はゆっくり点滅(2秒間に1回)をします。また、各設定状態(31~34ページ)や警報履歴(25ページ)を点滅してお知らせします。

●MODEボタン
セキュリティを作動せずにドアをロックする場合や、警告音キャンセル機能を働かせるときに使用します。また、セキュリティ機能の各設定時にも使用します。

●フラッシュランプ
異常を検知すると、点滅して不審者を威嚇します。

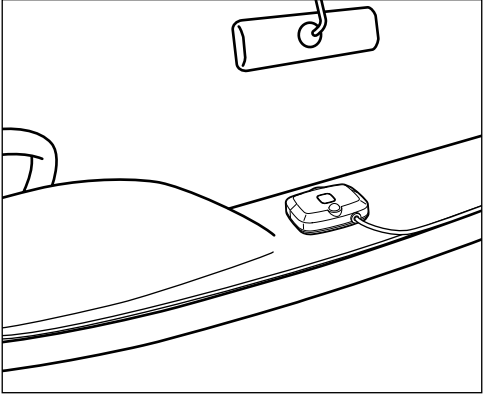
●ダミーレンズ

●ディップスイッチ(裏面)
セキュリティ機能の各種設定ができます。詳しくは「セキュリティ機能の設定」(30ページ)をご覧ください。



車外から良く見えるフロントダッシュ中央付近に貼り付けてください。

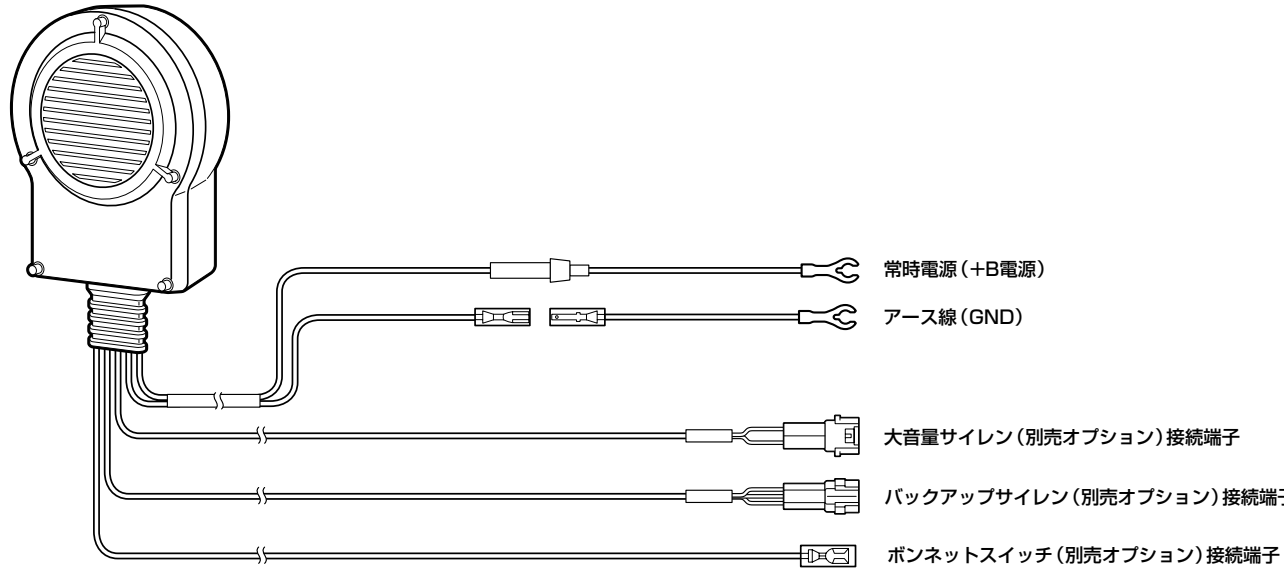
●貼り付け部分をあらかじめクリーニングし、チリや汚れ、脂分などをよく落としてから付属のマジックテープで貼り付けてください。



ボイスユニット(車載機)

エンジンルーム内に取り付ける無線式(電源ライン電送)のスピーカーです。接続線を車室内に引き込むことなく、車輻のバッテリーと接続するだけで、警告、警報を発します。

別売の大音量サイレン：A-26SF、バックアップサイレン：A-27SF、ボンネットスイッチ：A-29SFを車室内に引き込むことなく、簡単にシステムアップできます。



警告、警報の定義

本書は警告、警報を以下の定義で記載しています。

警告

警告は、「車輻への接近」、「覗き込み」、「小さな衝撃」を検知した場合の音または音声です。

『ピッ』または音声などで、車輻への接近に注意を促すとともに、セキュリティの存在を知らせて、犯行を未然に防止します。

警報

警報は、「ドアを開ける」、「車内に侵入する」、「ガラスを割る」、「大きな衝撃」、「ジャッキアップ ※」、「ボンネットの開閉 ※」を検知した場合に、警告後に行う動作です。

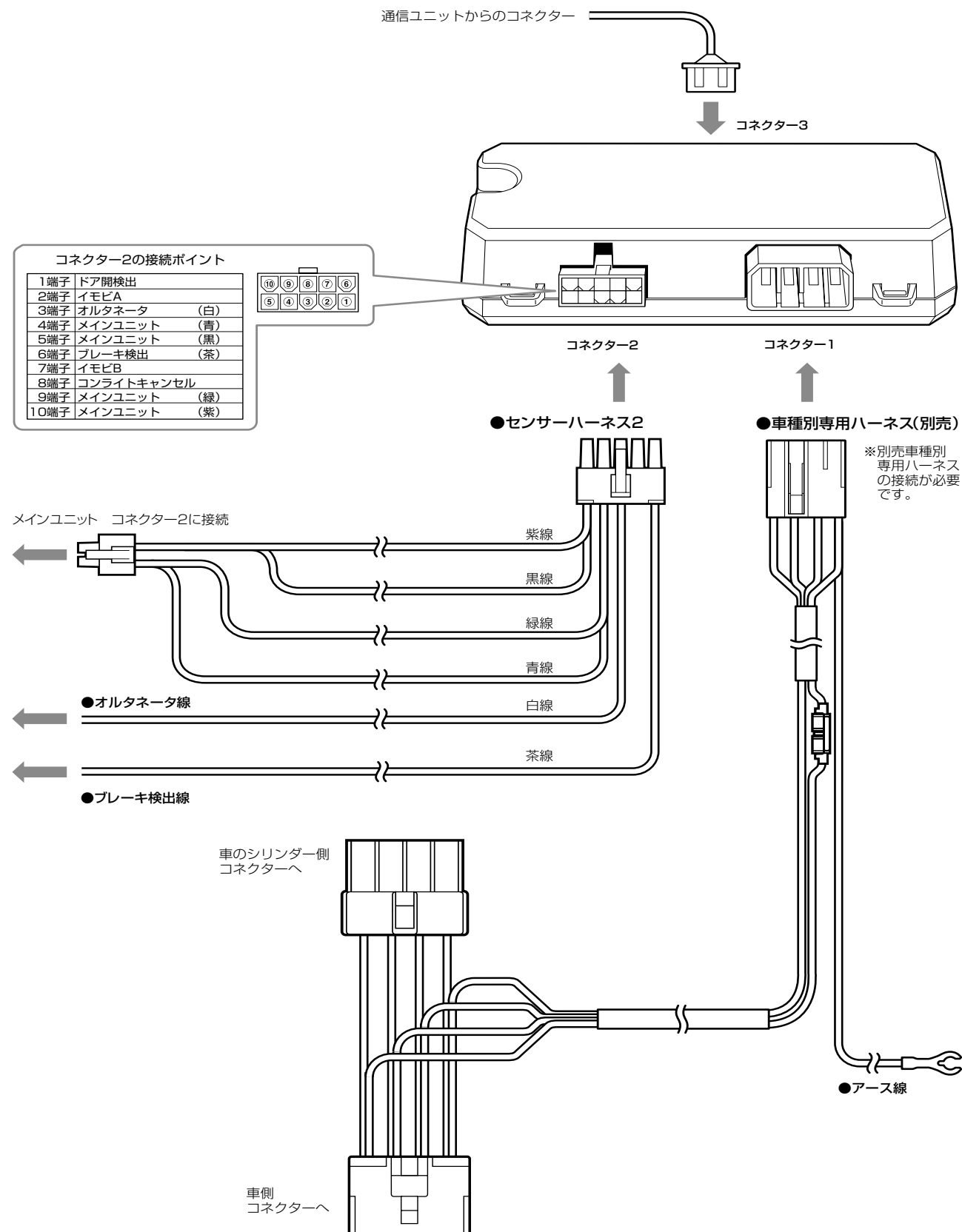
サイレンを鳴らして、車輻の異常を周囲に知らせます。

※はオプションです。

警告・警報時には、フラッシュユニットやハザードランプが点滅して、威嚇の効果を高めます。本機の異常検知時の動作については、10ページをご覧ください。

スターターユニット (車載機)

VE-S7000のみの付属品です。



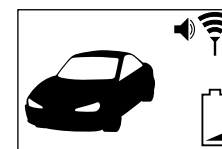
リモコンの準備

リモコンを充電する

■初めてご使用になる場合は、リモコンに付属のACアダプターを接続して約8時間以上充電してからご使用ください。

また、電池が消耗してくると、『ピューン』と1回鳴り、ディスプレイのバッテリー残量表示が下図のように表示されます。下図のようなディスプレイ表示のときは、電池容量が低下していますので充電を行ってください。

※電池容量が低下(バッテリー残量表示が少ないときの表示)していると、車輦からの通報を受信できません。

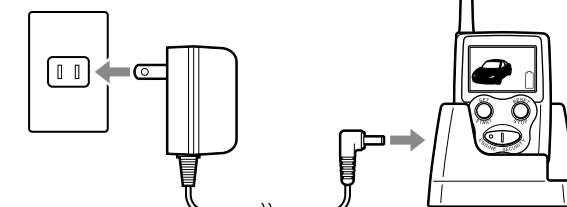


<電池充電容量不足状態>

●十分なときの表示

●少ないときの表示

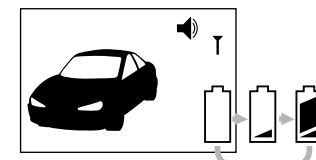
1 リモコンの充電ジャックに、付属のACアダプターを接続する



※付属のACアダプター以外で充電を行わないでください。発火や故障の原因となります。

2 ACアダプターを接続後、数秒経過すると、バックライトが点灯し、ディスプレイのバッテリー残量表示が、充電中を表示する

※バックライトおよび充電中表示は、ACアダプターが接続されている間、表示されます。



<電池充電中の表示>

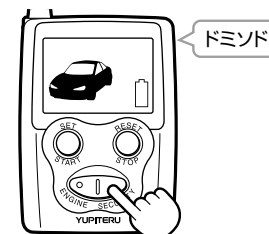
※充電が完了しても表示は変わりません。また、8時間以上充電を行っても、問題はありません。

※1回の満充電で約72時間(3日間)連続監視が可能です。

リモコンの電源をONにする

すべてのリモコン操作は、電源をONした状態で行います。

1 SECURITY (FUNCTION) ボタンを、『ドミソド』と鳴るまで5秒以上押す



2 バックライトが点灯し、ディスプレイにすべての液晶マークが表示後、バックライトが消灯して、ディスプレイにバッテリー残量表示とスピーカマークが表示される



<電源ON時の表示>

※バックライトが消灯するまでは、他の操作はできません。

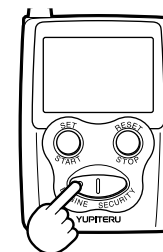
電源をOFFにするには

リモコンの電源がONの状態、上記1の操作で、リモコンの電源をOFFにできます。

セキュリティの作動を確認する

■セキュリティ作動中にリモコンの電源をOFFにした場合は、再度電源を入れただけでは、通報待ち受け状態にありません。(SECURITY ONが消灯) 通報待ち受け状態(SECURITY ONを表示)にするには、下記手順で、SECURITY ONを表示させてください。

1 ENGINE (MONITOR) ボタンを押す



2 『ピッ』と鳴ったら、バックライト点灯中に再度 ENGINE (MONITOR) ボタンを押す

電波表示が送信状態を表示し、車輦からの信号を受信するとSECURITY ONが表示されます。(28ページ参照)

※セキュリティを作動していない場合は、SECURITY ONは表示されません。

メモ

通報待ち受け状態とは

車輦の異常発生を、リモコンが受信できる状態のことです。ディスプレイにSECURITY ON表示中は、セキュリティが作動しており、通報待ち受け状態にあることを示しています。

セキュリティを作動させる



メモ

スタンバイ時間とは

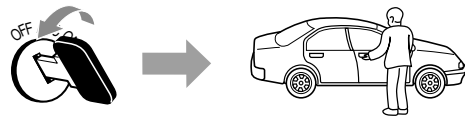
本機リモコンのSETボタン操作後、セキュリティが作動して監視にはいるまでの時間がスタンバイ時間です。ターボタイマー併用時などは、アフターアイドリング終了後にセキュリティの監視を開始することができます。スタンバイ時間は、工場出荷時に10秒(10秒/1分/3分/5分から選択できます)に設定されています。(34ページ参照)

準備

1 すべてのウィンドウを完全に閉める

- ※ ウィンドウは、完全に閉めて車内を密閉状態にしてください。すき間があると、気圧の変化を正しく検知することができず、ドア開警報が鳴りません。
- ※ オープンカーで、ルーフを開けた状態で本機を作動した場合、ドア開を検知できません。(ドアスイッチ接続線を接続してある場合は検知できます)
- 駐車の際は、できるだけルーフを閉じて、セキュリティを作動させてください。

2 エンジンを切り(エンジンキーをOFFにする)、降車してドアを閉める

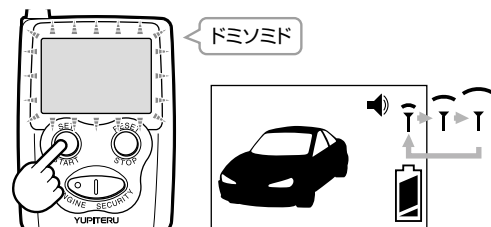


リモコンの操作

3 『ドミソミド』と鳴るまで、SETボタンを押す

バックライトが点灯します。ドアがロックされます。

※ 一部の車種では、セキュリティの作動操作でドアロックができません。



『ドミソミド』と鳴り、信号が送信されます。ディスプレイに電波表示が送信している状態を表示します。

メモ

本機リモコンでドアロックすると、アンロック後にロック動作を行う場合があります。これは、運転席がロック状態にあると運転席以外のドアがロックされない車種があり、このような車種でも、確実にドアをロックするための安全機構です。本機能を解除したい場合は取付店にご相談ください。

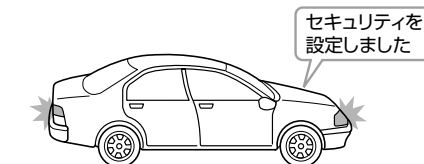
※ 車種のエンジンキーOFFで自動的にセキュリティを作動させることはできません。



通信ユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

4 確認音または音声が届き、ハザードランプが1回点滅してスタンバイ時間になります。

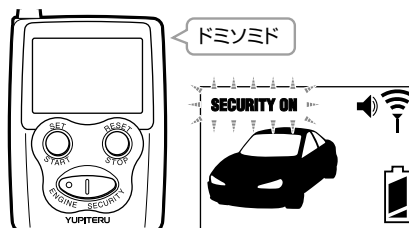
- ※ 操作の確認方法(31ページ)で、選択した確認方法による動作となります。
- ※ 確認音はボイスユニットから鳴ります。



スタンバイ時間中はフラッシュユニットのステータスインジケータが速く点滅(1秒間に2回点滅)します。



スタンバイ時間中に『ドミソミド』の音が鳴り、リモコンにセキュリティが作動したアンサーバックがあります。ディスプレイにSECURITY ONを表示後、バックライトが消灯します。



リモコンが、通報待ち受け状態になります。

信号を受信できないと

通信ユニットからの信号を受信できないとERROR表示が約2秒間点滅し、『ピー』と鳴ります。もう一度、最初からリモコン操作を行ってください。

5 スタンバイ時間を経過すると、監視動作になります。



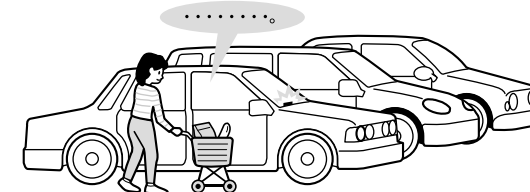
監視動作になると、ステータスインジケータがゆっくりと点滅(2秒間に1回点滅)します。

※ 車種のエンジンキーまたは純正キーレスリモコンを使用してドアをロックしても、セキュリティは作動しません。

警告音を鳴らせずに監視する(警告音キャンセル機能)

警告音キャンセル機能中は、車種の周囲を人が歩く程度では、警告音を発しません。衝撃やドア開などの異常では警告・警報動作を行いますので、スーパーの駐車場など、人の出入りが多い場所に駐車するときなどにご利用ください。

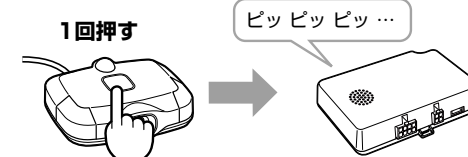
※警告音キャンセル機能は、セキュリティの作動ごとに設定してください。



警告音キャンセル機能の設定方法

1 エンジンを切り(エンジンキーをOFFにする)、フラッシュユニットのMODEボタンを1回押す

メインユニットが『ピッ ピッ ピッ...』と60秒間連続して鳴ります。

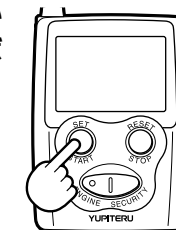


2 降車してドアを閉める



3 MODEボタンを押してから、60秒以内にSETボタンを押す

『ピッ ピッ ピッ...』音が止まり、警告音キャンセル機能に設定して、ドアをロックします。

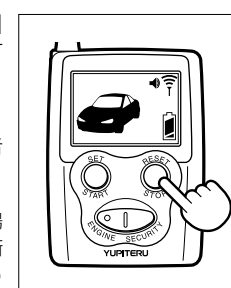


●警告音キャンセル機能を解除するには...

リモコンのRESETボタンを『ピッ』と鳴るまで押し、バックライト点灯中に再度RESETボタンを押してください。

セキュリティの解除とともに、警告音キャンセル機能が解除されます。

※警告音キャンセル機能を設定している場合でも、車種の通過など大きな動きや衝撃を検知した場合は、警告・警報を行う場合があります。



●セキュリティ作動中に、警告音キャンセル機能を設定するには

① RESETボタンを『ピッ』と鳴るまで押します。



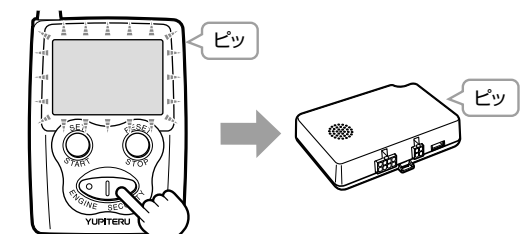
② バックライト点灯中にSETボタンを押すと、警告音キャンセル機能が設定されます。

任意に警報を鳴らす(パニック警報機能)

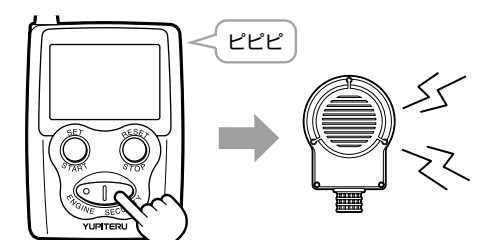
パニック警報機能により、セキュリティの作動/解除の状態を問わず、リモコン操作で警報を鳴らすことができます。

1 『ピッ』と鳴るまでSECURITY (FANCTION)ボタンを押す

バックライトが点灯します。



2 バックライト点灯中に、再度SECURITY (FANCTION)ボタンを押す



リモコンが『ピー ピー ピー』と鳴り、ボイスユニットからサイレンが鳴り出します。

●警報を停止するには、セキュリティ解除操作(※)を行ってください。

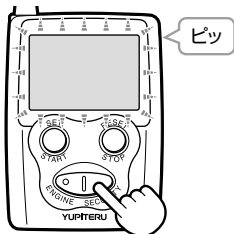
※セキュリティ解除操作
...リモコンのRESETボタンを『ピッ』と鳴るまで押し、バックライト点灯中に再度RESETボタンを押す

接近検知時の通報音を停止する(接近通報キャンセル機能)

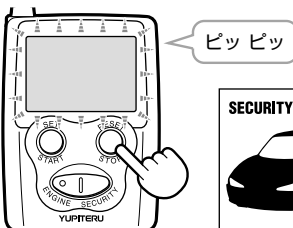
セキュリティの作動中、接近検知時の通報音を停止する機能です。車輛への接近を検知した場合は、ボイスユニットから警告が鳴り、ディスプレイに人マークが表示され、通報音は鳴りません。

1 『ピッ』と鳴るまでSECURITY (FANCTION)ボタンを押す

バックライトが点灯します。



2 バックライト点灯中に、RESETボタンを押す



RESETボタンを押すと、リモコンが『ピー ピー』と鳴り、接近通報マークとバックライトが消灯します。

●通報音をONにする場合は、上記手順を行ってください。

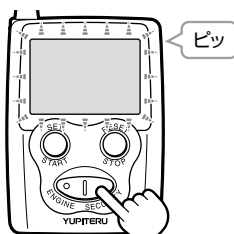
妨害電波通報機能を停止する

ACアダプター接続(充電中)状態で、セキュリティを作動させていると、妨害電波等による受信信号の遮断を、リモコンの妨害電波アラーム『ピーー』が10秒間鳴り、お知らせします。

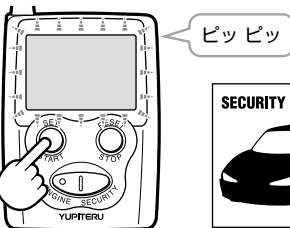
※周囲の電波状態が悪く、誤通報が鳴る場合は、窓際など電波の受信が安定している場所にリモコンを移動するか、妨害電波機能を停止してご使用ください。

1 『ピッ』と鳴るまでSECURITY (FANCTION)ボタンを押す

バックライトが点灯します。



2 バックライト点灯中に、『ピーピー』と鳴るまでSETボタンを押す



アンテナマーク、バックライトが消灯します。

●妨害電波アラームをONにする場合は、上記手順を行ってください。

通報時のディスプレイ表示

セキュリティ監視中に異常が発生すると、リモコンに以下の表示をするとともに通報音が鳴ります。

ドア開、車内侵入を検知したときの表示



通報音『ピーピー』が連続して鳴り、ディスプレイに人、衝撃、ドアマークを表示します。
※通報音は設定した時間鳴り続けます。



衝撃を検知したときの表示



通報音『ピピピピピピッ』が約12秒間または連続して鳴り、ディスプレイに人、衝撃マークを表示します。
※小さな衝撃を検知した場合は、12秒間、大きな衝撃を検知した場合は連続で通報音が鳴ります。
※大きな衝撃を感知した場合の通報音は設定した時間鳴り続けます。



接近を検知したときの表示

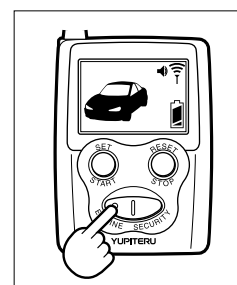


通報音『ピピッ』が1回鳴り、ディスプレイに人マークを表示します。



●リモコンの通報音を止めるには…
リモコンのENGINE (MONITOR) ボタンを『ピッ』と鳴るまで押してください。
バックライトが点灯して、通報音が止まります。

※車輛の警告音、警報音は止まりません。
警告音、警報音を止めたい場合は、「セキュリティを解除する」(25ページ)を参照してください。



※大きな衝撃、ドア開、車内侵入の警報中に、「車の状態を確認する」(28ページ参照)の操作を行うと、車輛の警報を、一時的にワンショット警報機能(33ページ参照)に設定することができます。1分間、異常検知がない状態が続くと、ワンショット警報は解除されます。

「車の状態を確認する」操作手順

1. 『ピッ』と鳴るまでENGINE (MONITOR) ボタンを押す
2. バックライト点灯中に、再度ENGINE (MONITOR) ボタンを押す
3. ディスプレイに、異常に応じたマークが表示され、車輛側の警報がワンショット警報に設定されます。

ワンショット警報とは

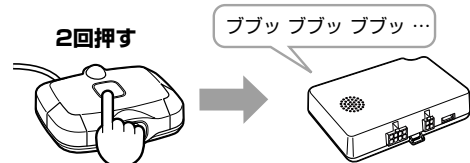
不審者の動きを検知した場合に、大音量の警報を連続して鳴らすことなく、ワンフレーズの短い警報を鳴らすことができます。不審者の動きなど、連続で異常を検知している場合には、短い警報が連続して鳴り、不審者を威嚇します。

セキュリティを作動させずにドアをロックするには

セキュリティの作動とドアロックを連動させている場合は、以下の手順で操作してください。また、車輛のエンジンキーや純正のキーレスリモコンを使用してドアをロックすると、セキュリティを作動せずにドアロックができます。

1 エンジンを切り(エンジンキーをOFFにする)、フラッシュユニットのMODEボタンを2回押す

メインユニットが『ブブッ ブブッ ブブッ…』と60秒間連続して鳴ります。



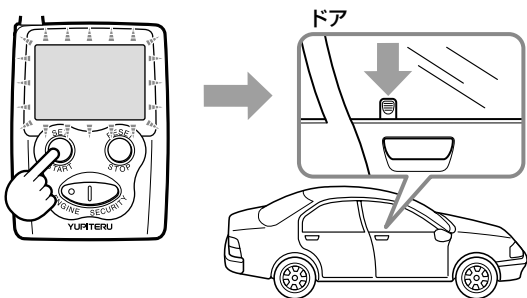
※ 本機リモコンを使用して、セキュリティを作動させずにドアをロックする場合は、そのたびごとに上記操作を行ってください。

2 降車してドアを閉める

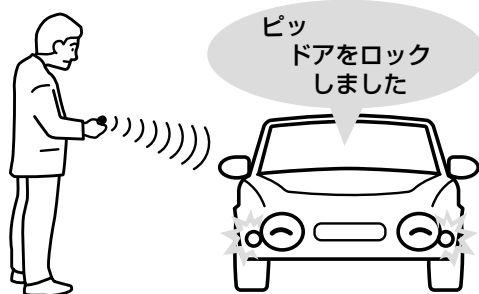


3 メインユニットから『ブブブブブブブ…』と連続音が鳴っている間に、SETボタンを押す

確認音が鳴り、セキュリティを作動させずにドアがロックされます。



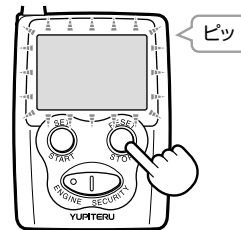
確認音を音声に設定していると、『ドアをロックしました』のアナウンスが流れ、セキュリティは作動しません。



セキュリティを解除する (警報を止める)

1 『ピッ』と鳴るまでRESETボタンを押す

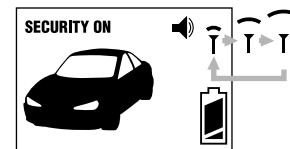
バックライトが点灯します。



2 バックライト点灯中に、再度RESETボタンを押す

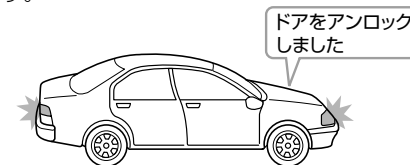


再度RESETボタンを押すと、リモコンが『ソミドミン』と鳴り、信号が送信されます。



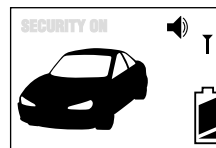
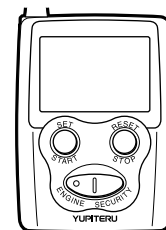
リモコンからの信号を受信すると

ドアがアンロックされるとともに、確認音または音声がかかります。ハザードランプが2回点滅してセキュリティが解除されます。



※ 一部の車輛では、セキュリティの解除操作でドアアンロックができません。

※ 操作の確認方法(31ページ)で、選択した確認方法による動作となります。



『ソミドミン』の音が鳴り、通信ユニットからセキュリティが解除されたアンサーバックがあります。SECURITY ONの表示が消え、バックライトが消灯します。

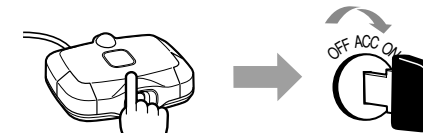
信号を受信できないと

通信ユニットからの信号を受信できないとERROR表示が約2秒間点滅し、『ビー』と鳴ります。もう一度、最初からリモコン操作を行ってください。

※ 電波の状態によっては、1度のリモコン操作では電波を受信できない場合があります。(警報は止まりません)このような場合は、再度上記のリモコン操作を行ってください。

リモコンの電池切れや故障などで、リモコンが使用できないときにセキュリティを解除するには

1 フラッシュユニットのMODEボタンを5秒以上押し続け、ボタンを押した状態のままエンジンキーをACCにする



セキュリティがすべて解除されます。

● 別売オプションの無線イモビライザーを取り付けている場合は、無線イモビライザーも解除されます。(キーでエンジンをかけることができます)

メモ

本機リモコンでドアアンロック操作後、20秒経過してもドアの開閉やエンジンキーがACCにならないと、再度ドアロックするとともに、セキュリティを作動させるリロック機能を備えています。リロック機能の設定・解除の変更は取付店にご相談ください。

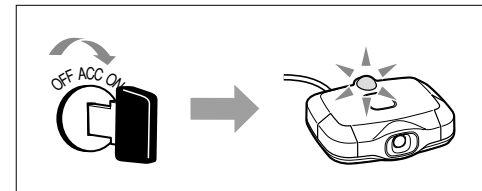
また、リロック機能が動作した場合は、リモコンのディスプレイにSECURITY ONが表示されません。このような場合は「セキュリティの作動を確認する」(19ページ)を参照して、セキュリティの状態を確認してください。

警報履歴

セキュリティ解除後、エンジンキーをACCにすると、監視中の警報回数を、ステータスインジケータの点滅回数とメインユニットのブザー音でお知らせします。

※ アクセサリー電源をイグニッションラインに接続した場合は、エンジンキーをONにすると警報履歴を確認できます。

※ 警告は履歴として残りません。



警報0回	無音 ステータスインジケータは減警しませんが
警報1回	『ピーピー』音とステータスインジケータが1回点滅
警報2回	『ピーピーピー』音とステータスインジケータが2回点滅
警報3回	『ピーピーピーピー』音とステータスインジケータが3回点滅
警報4回	『ピーピーピーピーピー』音とステータスインジケータが4回点滅
警報5回以上	『ピーピーピーピーピーピー』音とステータスインジケータが5回点滅

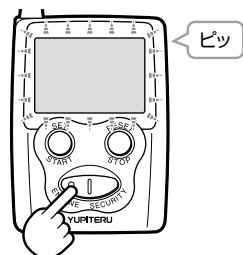
エンジンを始動させる(VE-S7000のみ)

VE-S7000は、エンジンスターター機能を搭載していますので、離れた場所から、エンジンの始動・停止ができます。
※エンジンキーを使用してエンジンを始動している場合、本機リモコンでエンジンの停止はできません。

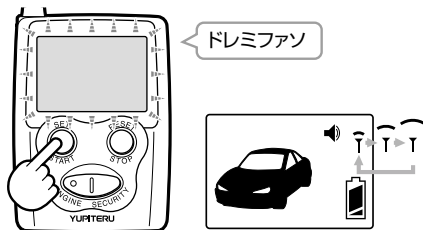
リモコンの操作

1 『ピッ』と鳴るまでENGINEボタンを押す

バックライトが点灯します。



2 バックライト点灯中に、SETボタンを押す



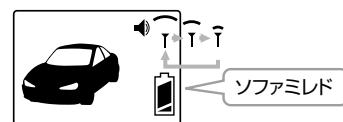
SETボタンを押すと、リモコンが『ドレミファソ』と鳴り、信号が送信されます。
ディスプレイの電波マークが送信している状態を表示します。



通信ユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

通信ユニットからの信号を受信すると

『ソファミレド』と鳴り、ディスプレイの電波マークが受信している状態を表示します。



※電波状態によって送受信がすぐに行われる場合があります。その場合、『ドレミファソ』、『ソファミレド』が連続して聞こえることがあります。



約1秒後にエンジンの始動を行います。

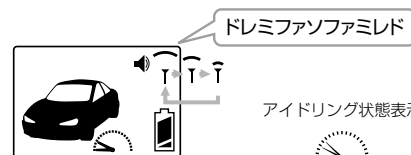
エンジンが始動すると



20秒以内に始動確認の信号をリモコンに送ります。
車輛のハザードランプを3回点滅して、エンジンの始動をお知らせします。

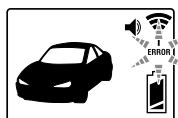
通信ユニットからの信号を受信すると

『ドレミファソファミレド』と鳴り、ディスプレイのメーターマークがアイドリング状態表示となります。



アンサーバック表示後、バックライトが消灯します。

通信ユニットからの始動確認信号を受信できないと、『ビー』の音が鳴り、ディスプレイにERROR表示が約2秒間点滅します。このようなときは「車の状態を確認する」(28ページ参照)で始動・停止をご確認ください。



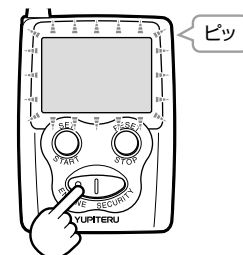
エンジンが始動すると、アイドリング中は『ピッピッピッ』と通信ユニットから連続して鳴り、エンジンスターターでエンジンを始動していることをお知らせします。

エンジンを停止させる(VE-S7000のみ)

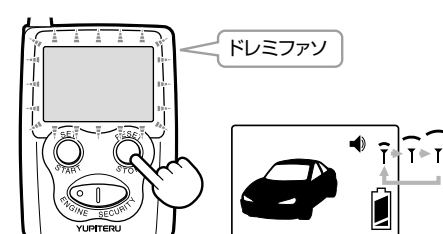
リモコンの操作

1 『ピッ』と鳴るまでENGINEボタンを押す

バックライトが点灯します。



2 バックライト点灯中に、RESETボタンを押す



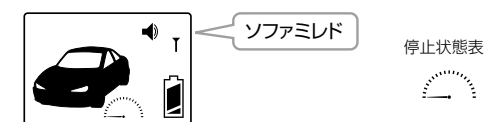
RESETボタンを押すと、リモコンが『ドレミファソ』と鳴り、信号が送信されます。
ディスプレイの電波マークが送信している状態を表示します。



通信ユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

通信ユニットからの信号を受信すると

ディスプレイの電波マークが受信している状態を表示後、『ソファミレド』と鳴り、メーターマークがエンジン停止の表示となります。



アンサーバック表示後、バックライトが消灯します。



エンジンを停止します。

信号を受信できないと

通信ユニットからの信号を受信できないとERROR表示が約2秒間点滅し、『ビー』と鳴ります。
もう一度、最初からリモコン操作を行ってください。

警告

車輛の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用してください。
リモコンの電波は、周辺環境など、条件の良いところでは遠方(3km以上)まで届くことがあります。

メモ

•車のバッテリーの性能が低下しているときは、車のキーで始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。

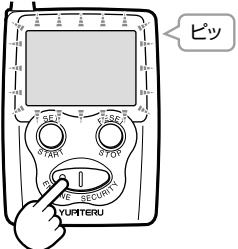
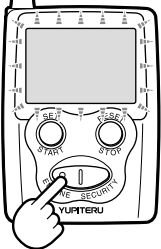
エンジンが始動できないと

リモコンから『ビーピーピー』の音が鳴り、リモコンのメーター表示がエンジン停止状態表示となります。このようなときはもう一度、最初からリモコン操作を行ってください。
※エンジン始動エラーが発生すると、通信ユニットから発生原因に対応したエラー音が鳴ります。

エンジンが始動しない、始動してもすぐに停止してしまう場合は、「エラー音について」(51ページ)をご覧ください。

車の状態を確認する

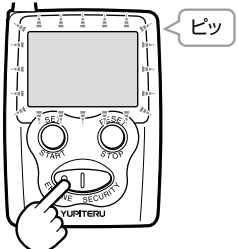
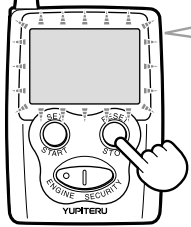
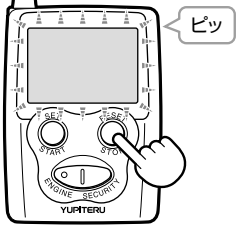
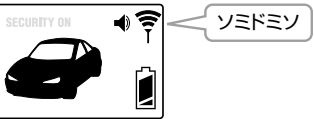
本機リモコンの電池切れや電源をOFFにした場合に、再度リモコンの電源をONにだけでは、セキュリティ作動中であっても、リモコンは通報待ち受け状態にありません。(SECURITY ONが消灯)
リモコンが通報待ち受け状態になっていないと、車輛の異常が通報されません。
通報待ち受け状態(SECURITY ONを表示)にするには、下記手順でセキュリティの作動を確認してください。
またVE-S7000では、本機のエンジンスターター機能でエンジンを始動した場合は、下記操作で、エンジンの始動・停止を確認できます。

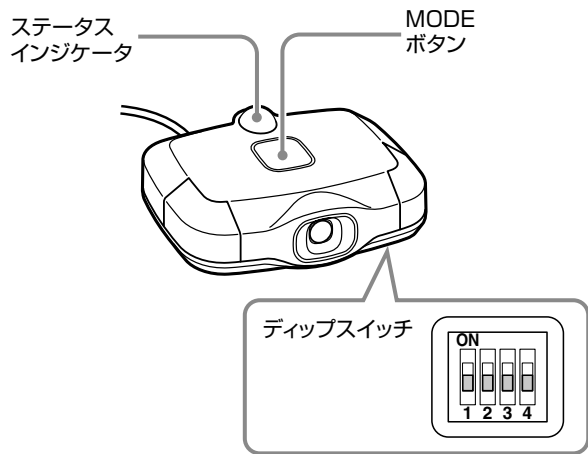
リモコンの操作	通信ユニットからの信号を受信すると
1 『ピッ』と鳴るまでENGINE(MONITOR)ボタンを押す バックライトが点灯します。  2 バックライト点灯中に、再度ENGINE(MONITOR)ボタンを押す  再度ENGINEボタンを押すと、リモコンが『ピピピッ』と鳴り、信号が送信されます。ディスプレイの電波マークが送信している状態を表示します。	ディスプレイに電波マークが受信している状態を表示後、『ドミソミド』と鳴り、車の状態が表示されます。 ●セキュリティ状態表示 セキュリティ作動中：SECURITY ON セキュリティ解除中：SECURITY ON 消灯 ●ドミソミド ●メーター表示 アイドリング中：(針2本が交互に点滅します) 停止中：(針1本が点滅します) エンジンが停止中は 電波マークが受信している状態を表示後、『ピーピピッ』と鳴り、メーター表示が停止中を表示します。 ※キーでエンジンを始動している場合は確認できません。 アンサーバック表示後、バックライトが消灯します。
 通信ユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。	

信号を受信できないと
通信ユニットからの信号を受信できないとERROR表示が約2秒間点滅し、『ピー』と鳴ります。
もう一度、最初からリモコン操作を行ってください。

スターター機能による、アイドリング中の車への乗車(VE-S7000のみ)

本機でエンジン始動した状態では、走行できません。走行するときは、いったんエンジンを停止させた後、必ずキー操作でエンジン始動してください。

車を発車させる	
『リモコン操作でエンジンを停止させる』 1 『ピッ』と鳴るまでENGINEボタンを押す バックライトが点灯します。  2 バックライト点灯中に、RESETボタンを押す  RESETボタンを押すと、リモコンが『ドレミファソ』と鳴り、信号が送信されます。ディスプレイの電波マークが送信している状態を表示します。 ※ドア検出線を取り付けている場合は、運転席ドアを開けると、エンジンが停止します。	本機セキュリティが監視状態にある場合は、エンジン停止のアンサーバックを受信後、セキュリティを解除する 3 『ピッ』と鳴るまでRESETボタンを押す バックライトが点灯します。  4 バックライト点灯中に、再度RESETボタンを押す。 再度RESETボタンを押すと、リモコンが『ソミドミソ』と鳴り、信号が送信されます。 ※エンジン停止のアンサーバックを受信していない状態で、セキュリティ解除の操作を行うと、通信エラーが発生する場合があります。
 通信ユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。	通信ユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。
通信ユニットからの信号を受信すると ディスプレイの『ソファミレド』と鳴り、ディスプレイのメーターマークが停止中を表示します。アンサーバック表示後、バックライトが消灯します。  通信ユニットからの始動確認信号を受信できないと、『ピー』音が鳴り、ディスプレイのERROR表示が約2秒間点滅します。このようなときは、「車の状態を確認する」(28ページ参照)で始動・停止をご確認ください。	通信ユニットからの信号を受信すると 『ソミドミソ』と鳴り、ディスプレイのSECURITY ONの表示とバックライトが消灯して、ドアがアンロックされます。  5 車に乗り込み、エンジンキーでエンジンを始動させる  リモコンの電池切れや故障の際のセキュリティ解除方法については、25ページを参照してください。



1 エンジンキーを抜き、セキュリティを解除する

2 フラッシュユニットのディップスイッチ配列を、本書31～34ページを参照して、設定する項目と同じ配列にする

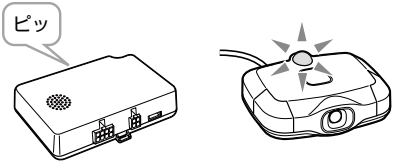
例 確認音の音量を小に変更する場合の操作
ディップスイッチを「ON」「OFF」「ON」「OFF」に配列する。



3 MODEボタンを押して設定を変更する

MODEボタンを押すたびに設定動作が変更されます。メインユニットからの設定音と、ステータスインジケータの点滅回数で設定動作の状態が確認できます。希望する設定動作の設定音が鳴るまで、MODEボタンを数回押してください。

例 確認音の音量を小に変更する場合の操作
MODEボタンを1回押す。
メインユニットが「ピッ」と鳴り、ステータスインジケータが1回点滅します。



さらに他の項目を設定する場合は、続けてディップスイッチを設定したい項目の配列にあわせ、再度、手順3の操作を行ってください

ディップスイッチの配列を変更すると、手順3で変更した設定動作が有効となります。

4 ディップスイッチを、すべてOFF側にする

■オールリセット

項目	ディップスイッチの配列
すべての設定を工場出荷時に戻します。	

すべてのディップスイッチをONにすると「ピーピーピー」と確認音が鳴ります。その状態で、MODEボタン押し続け、連続音「ピー」になったら、すべての設定が工場出荷時の設定に変更されます。

ディップスイッチをすべてOFFに戻してください。

■操作確認を変更する

項目	ディップスイッチの配列	設定動作 MODEボタンを押したとき の設定動作 (□: 工場出荷時の設定 ♪: 設定音 ※: ステータスインジケータ)
●操作の確認方法 セキュリティの作動/解除時の確認方法を選択できます。		MODEボタンを押す 確認音のみ ♪ ピッ ※ 1回点滅 ハザードランプの点滅のみ ♪ ビビッ ※ 2回点滅 確認音とハザードランプの点滅 ♪ ビビピッ ※ 3回点滅
●確認音の音量 セキュリティの作動/解除時の確認音量を選択できます。		MODEボタンを押す 音量 小 ♪ ピッ ※ 1回点滅 音量 中 ♪ ビビッ ※ 2回点滅 音量 大 ♪ ビビピッ ※ 3回点滅 音量 最大 ♪ ビビピピッ ※ 4回点滅
●確認音の音色 セキュリティの作動/解除時の音色を選択できます。		MODEボタンを押す 作動時→ピッ (解除時→ビピッ) ♪ ピッ ※ 1回点滅 作動時→ヒュ (解除時→ヒュヒュ) ♪ ヒュ ※ 2回点滅 作動時→ギュイ (解除時→ギュイギュイ) ♪ ギュイ ※ 3回点滅 音声 作動時→「セキュリティを設定しました」 ♪ ビビピピッ ※ 4回点滅 ※セキュリティを作動させずにドアロック操作を行ったときは、「ドアをロックしました」の確認音となります。 解除時→「ドアをアンロックしました」
●ステータスインジケータの点滅設定 セキュリティ作動中のステータスインジケータの点滅/消灯を選択できます。		MODEボタンを押す 点滅 ♪ ピッ ※ 1回点滅 消灯 ♪ ビビッ ※ 2回点滅

各種設定方法

各種設定方法

警告・警報のしかたを変更する

項目	ディップスイッチの配列	設定動作 MODEボタンを押したとき の設定動作 (□:工場出荷時の設定 ♪:設定音 ※:ステータスインジケータ)
●威嚇方法 車輦への接近やうろつき、小さな衝撃を検知した場合の威嚇方法を選択できます。	 ディップスイッチ設定 ON ON OFF OFF 1 2 3 4	MODEボタンを押す 禁止 ♪ ピッ ※ 1回点滅 フラッシュユニットのフラッシュのみ ♪ ピピッ ※ 2回点滅 警告音のみ ♪ ピピピッ ※ 3回点滅 警告音+フラッシュユニットのフラッシュ ♪ ピピピピッ ※ 4回点滅
●ハザードランプの点滅設定 異常検知時に車輦のハザードランプを点滅する/しないを選択できます。	 ディップスイッチ設定 OFF ON ON OFF 1 2 3 4	MODEボタンを押す すべての警告・警報でハザードランプの点滅を禁止する ♪ ピッ ※ 1回点滅 警告時のみハザードランプの点滅をする ♪ ピピッ ※ 2回点滅 警報時のみハザードランプの点滅をする ♪ ピピピッ ※ 3回点滅 すべての警告・警報でハザードランプの点滅をする ♪ ピピピピッ ※ 4回点滅
●警告音・警報音の音量 警告音・警報音の音量を選択できます。	 ディップスイッチ設定 OFF OFF ON OFF 1 2 3 4	MODEボタンを押す 音量 小 ♪ ピッ ※ 1回点滅 音量 中 ♪ ピピッ ※ 2回点滅 音量 大 ♪ ピピピッ ※ 3回点滅 音量 最大 ♪ ピピピピッ ※ 4回点滅
●警報音の音色 警報音の音色を選択できます。	 ディップスイッチ設定 ON ON OFF ON 1 2 3 4	MODEボタンを押す キュー ♪ キュー ※ 1回点滅 キュキュキュ ♪ キュキュキュ ※ 2回点滅 ピーパー ♪ ピーパー ※ 3回点滅 ギュインギュイン ♪ ギュインギュイン ※ 4回点滅

項目	ディップスイッチの配列	設定動作 MODEボタンを押したとき の設定動作 (□:工場出荷時の設定 ♪:設定音 ※:ステータスインジケータ)
●警報時間 異常検知時の警報時間を選択できます。	 ディップスイッチ設定 ON ON ON OFF 1 2 3 4	MODEボタンを押す ワンショット警報機能 不審者の動きを検知した場合に、大音量の警報を連続して鳴らすことなく、ワンフレーズの短い警報を鳴らすことができます。不審者の動き等連続で異常を検知している場合には、短い警報が連続して鳴り、不審者を威嚇します。 ※リモコンから、一時的に設定することもできます。(「通報時のディスプレイ表示」23ページ参照) ♪ ピッ ※ 1回点滅 30秒間 ♪ ピピッ ※ 2回点滅 60秒間 ♪ ピピピッ ※ 3回点滅 120秒間 ♪ ピピピピッ ※ 4回点滅 例)大きな衝撃を検知した場合 ・ワンショット警報機能選択時:『ピピピッ』『衝撃を検知しました。通報します』の後、『キューキュー』のワンフレーズ警報となります。 ピピピッ 衝撃を検知しました。通報します。キューキュー ・30秒間を選択時:『ピピピッ』『衝撃を検知しました。通報します』の後、『キューキュー』が約30秒間連続して鳴ります。
●誤動作判別精度 小動物その他による誤動作を低減できます。 ※ 接近警告、衝撃警告に誤動作がある場合は「精度高」を選択してください。「精度高」は接近警告・衝撃警告を「最高精度」と同じ判別で行います。また、警報に失報がある場合は、「精度低」を選択してください。「精度低」を選択しても、警告の精度は「精度中」と同じです。	 ディップスイッチ設定 ON OFF OFF ON 1 2 3 4	MODEボタンを押す 最高精度 ♪ ピッ ※ 1回点滅 精度高 ♪ ピピッ ※ 2回点滅 精度中 ♪ ピピピッ ※ 3回点滅 精度低 ♪ ピピピピッ ※ 4回点滅 ※「最高精度」に設定する場合は、必ずドアスイッチ接続線をカーテン(ドアスイッチ)またはドアを開けたときに点灯するルームランプに接続してください。 ※識別精度を低く設定すると、周囲の環境により誤警報する場合があります。環境に合わせて、判別精度を選んでください。

メモ

失報とは、異常が発生しているにもかかわらず、警報が鳴らないことをいいます。

各種設定方法

各種設定方法

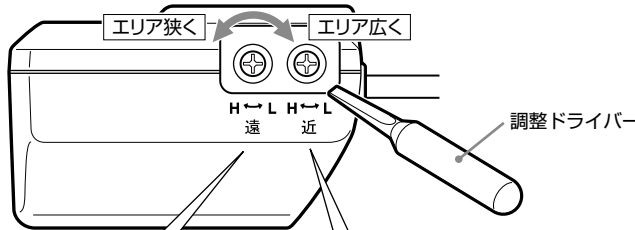
■セキュリティの作動に関する設定

項 目	ディップスイッチの配列	設定動作
●セキュリティの作動を開始する条件 セキュリティが作動できる条件を設定できます。	 ディップスイッチ設定 ON OFF OFF OFF 1 2 3 4	MODEボタンを押したとき □: 工場出荷時の設定 ♪: 設定音 ※: ステータスインジケータ MODEボタンを押す 車両のアクセサリ電源がOFFの状態 でセキュリティを作動させることができます 通常はこのモードでご使用ください。 ♪ ピッ ※ 1回点滅 エンジンキーの状態に関係なく、セキュ リティを作動させることができます ターボタイマーを併用する場合はこちらのモ ードでご使用ください。 ♪ ピピッ ※ 2回点滅 セキュリティ作動をすべて禁止 車両の点検、整備の際はこのモードに設定して ください。 ♪ ブッ ※ 消灯 ※エンジンキーの状態に関係なく、セキュリティを作動させる 場合は、メインユニットのディップスイッチNo.3をONにし てください。
●スタンバイ時間 本機リモコンでセキュリ ティを作動させて(SETボ タンを押す)から、監視に はいるまでの時間を選択 できます。	 ディップスイッチ設定 OFF OFF OFF ON 1 2 3 4	MODEボタンを押す 10秒 ♪ ピッ ※ 1回点滅 60秒 ♪ ピピッ ※ 2回点滅 3分 ♪ ピピピッ ※ 3回点滅 5分 ♪ ピピピピッ ※ 4回点滅 ターボタイマー併用時などは、アフターアイドルリング終了時間 を想定して選択してください。 ※ターボタイマー併用時は、メインユニットのディップスイッチNo.3を ONにしてください。
●エンジンスターター動作 時の監視設定 弊社エンジンスターター 動作中の監視方法を選択 できます。 ※弊社エンジンスターターで エンジンスターター接続線 と接続した場合に限り、エ ンヂンスターターの動作を 認識できます。	 ディップスイッチ設定 OFF ON OFF OFF 1 2 3 4	MODEボタンを押す セキュリティ監視を停止 ♪ ピッ ※ 1回点滅 ドアスイッチのみ監視状態 ※ドアスイッチ接続線の配線がない場合は、警報が鳴 りません。 ♪ ピピッ ※ 2回点滅 マイクロ波+スーパーセンサーまたはドア スイッチによるドア開検出のみを監視 ♪ ピピピッ ※ 3回点滅 すべてのセンサーは監視状態にあります が、威嚇動作(フラッシュ、ハザード、警告)は 停止します。 ※ドア開や大きな衝撃による警報は行います。 ♪ ピピピピッ ※ 4回点滅

監視エリアの調整方法

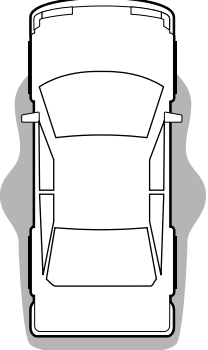
本機を初めて車両に取り付けた場合
は、取り付け車両にあわせたマイク
ロ波センサーユニットの調整が必要
です。

※付属の調整ドライバーを使用して調整してく
ださい。



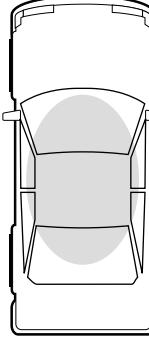
車外監視エリア(警告エリア)

車外監視エリアは車外検知が可能な
エリアで、このエリア内の動きを接
近と判別して警告します。一般的な
乗用車の車外監視エリアは、右図
のようなエリアとなることが多く
見られます。監視エリアを設定す
る際は監視エリアの分布と駐車環
境を考慮して、調整してください。
※車両によって監視エリアの分布
は異なります。



車内監視エリア(警報エリア)

車内監視エリアは車内検知が可能なエ
リアで、このエリア内での動きを車内侵
入と判別して、警報を鳴らします。
覗き込みでは警報が鳴らないように調
整してください。



＜車外監視エリアの調整方法＞

※ 調整する場合は誤動作判別精度(33ページ)を「精度中」(工場出荷時の
設定値)で行ってください。「精度高」または「最高精度」を選択してい
ると、車輛への接近では警告しません。

- 1 セキュリティを作動し、スタンバイ時間経過後、ゆっくりと
車に近づき、警告音「ピッ」が鳴ったところで停止し、監視エ
リアを確認する
車輛の左右、後方向から上記操作を行い、監視エリアの分布
を大まかに把握します。チョークなどで印を付けておくと、
わかりやすくなります。
- 2 監視エリアを広げる場合は、マイクロ波センサーユニットの
「遠」ボリュームをサンバイザーに取り付けた状態で時計方向
に回す
監視エリアを狭める場合は、「遠」ボリュームを反時計方向に
回します。
- 3 変更した監視エリアの分布を手順①で確認し、必要に応じ
て手順②の調整を行う

＜オープンカーでご使用になる場合の調整方法＞

※ 調整する場合は誤動作判別精度(33ページ)を「精度中」(工場出荷時の
設定値)で行ってください。「精度高」または「最高精度」を選択してい
ると、車輛への接近では警告しません。

- 1 ルーフを閉じる
- 2 車輛を覗き込むような動作で警告が鳴るように、「遠」ボ
リュームを徐々に時計方向に回す((感度を上げていく)
※車輛への接近で警告が鳴るように調整した場合、ルーフを開けて駐車
すると、監視エリアが広がり誤動作の原因となります。ルーフを開け
た状態で、車外監視エリアの広がりをご確認ください。

＜車内監視エリアの調整方法＞

※ 調整する場合は誤動作判別精度(33ページ)を「精度低」で行ってくださ
い。

※ 車内監視エリアを広くしすぎると、車外の動きでも車内侵入と判断
し、警報を発する場合があります。車外の動きで警報(サイレン)が鳴
る場合は、エリアの設定を狭くしてください。

- 1 マイクロ波センサーユニットの「近」ボリュームを反時計方向
に少し回す
- 2 セキュリティを作動し、スタンバイ時間経過後、ゆっくりと
車に近づき、車輛のすべてのウインドウから車内を覗き込
み、警報が鳴らないことを確認する
警報が鳴る場合は、再度「近」ボリュームを反時計方向に少し
回し、覗き込みで警報が鳴らないように調整してください。
- 3 車輛のドアを開け、ドアを開けたとき、または侵入動作(車
内に乗り込もうとする動作)で警報が鳴ることを確認する
※ 車輛のすべてのドアで確認してください。
上記動作で警報が鳴らない場合は、「近」ボリュームを時計方向に少し
回し、手順②から再度確認してください。
※ ドアを開けたとき、または侵入動作(車内に乗り込もうとする動作)で
警報が鳴るように調整すると、覗き込みで警報が鳴ってしまう場合
は、ドアスイッチ接続線の接続が必要です。

＜オープンカーでご使用になる場合の調整方法＞

※ 調整する場合は誤動作判別精度(33ページ)を「精度低」で行ってくださ
い。

- 1 ルーフを開ける
- 2 運転席および助手席の物を盗もうと腕を伸ばした状態で、警
報が鳴るように「近」ボリュームを徐々に時計方向に回す(感
度を上げていく)

セル時間の設定 (VE-S7000のみ)

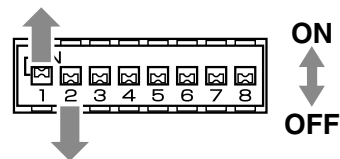
※設定には専門知識が必要です。不必要な設定は車輛の破損につながりますので、十分ご注意ください。

車に合わせて、リモコンでセルモータの始動時間を0.5秒、0.7秒、1.0秒、1.5秒、2.0秒、3.0秒、5.0秒(7段階)の設定ができます。セルモータのひきずりがある場合にはセル時間を短めに、エンジンが始動しにくい場合は長めに設定してください。設定には十分ご注意ください。(工場出荷時には1.0秒に設定されています)

※ 設定を行う場合は、車のキーを抜いて、セキュリティを解除した状態で行ってください。

※ オルタネータ線(白線)を接続している場合、セル時間内にエンジンの始動検出ができると、セルモータを停止します。

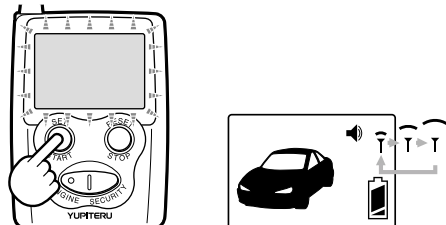
1 通信ユニットの裏のディップスイッチNo.1をON、No.2をOFFにする



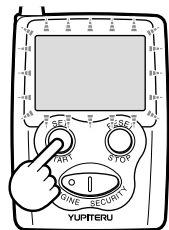
2 リモコンのSETボタンを押す

バックライトが点灯します。

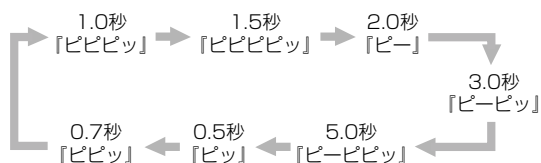
※ 設定中はリモコンの表示や音階ブザーがドアロック操作と同じように動作しますが、ドアのロックはされません。



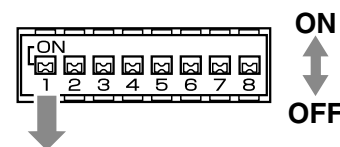
3 SETボタンを押して、セル時間の設定を変更する



SETボタンを押すごとに、次のようにセル時間の設定が変更されます。設定したいセル時間のブザー音が鳴ったところで、手順4に進みます。



4 通信ユニットの裏のディップスイッチを元に戻す(No.1、No.2をOFF)



通信ユニットから『ピピッ』と鳴り、セル時間設定を終了します。

■セル時間とブザー音

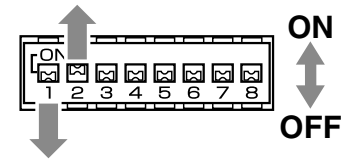
0.5秒	ピッ
0.7秒	ピピッ
1.0秒	ピピピッ
1.5秒	ピピピピッ
2.0秒	ピー
3.0秒	ピーピッ
5.0秒	ピーピピッ

アイドリング時間の設定 (VE-S7000のみ)

エンジンスターターで始動した場合のアイドリング時間(10分~30分の間で、5分単位)をリモコンで設定できます。(工場出荷時には10分に設定されています)

※ 設定を行う場合は、車のキーを抜いて、セキュリティを解除した状態で行ってください。

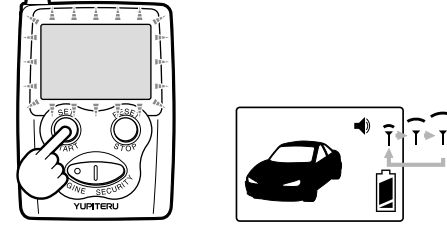
1 通信ユニットの裏のディップスイッチNo.1をOFF、No.2をONにする



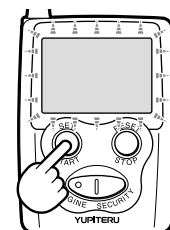
2 リモコンのSETボタンを押す

バックライトが点灯します。

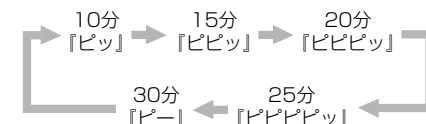
※ 設定中はリモコンの表示や音階ブザーがドアロック操作と同じように動作しますが、ドアのロックはされません。



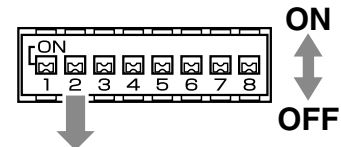
3 SETボタンを押して、アイドリング時間の設定を変更する



SETボタンを押すごとに、次のようにアイドリング時間の設定が変更されます。設定したいアイドリング時間のブザー音が鳴ったところで、手順4に進みます。



4 通信の裏のディップスイッチを元に戻す(No.1、No.2をOFF)



通信ユニットから『ピピッ ピピッ』と鳴り、アイドリング時間設定を終了します。

■アイドリング時間とブザー音

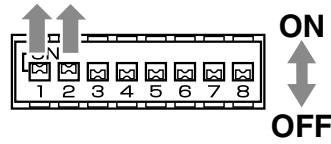
10分	ピッ
15分	ピピッ
20分	ピピピッ
25分	ピピピピッ
30分	ピー

グロー時間の設定(VE-S7000のみ)

車に合わせて、グロー時間を2.0秒、3.0秒、5.0秒、7.0秒、10.0秒(5段階)の設定ができます。(工場出荷時には5.0秒に設定されています)

※ 設定を行う場合は、車のキーを抜いて、セキュリティを解除した状態で行ってください。
※グロー時間を7.0秒、10.0秒選択時はオルタネータ線の接続が必要です。

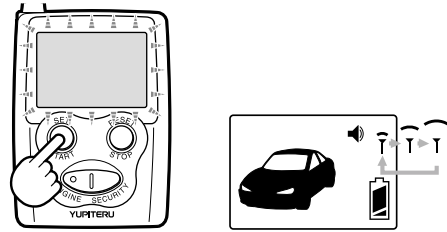
1 通信ユニットの裏のディップスイッチ No.1、No.2をONにする



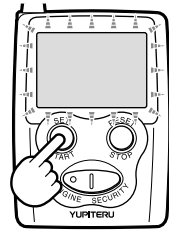
2 リモコンのSETボタンを押す

バックライトが点灯します。

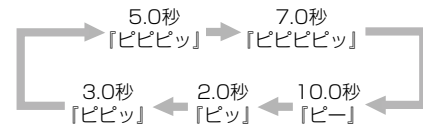
※ 設定中はリモコンの表示や音階ブザーがドアロック操作と同じように動作しますが、ドアのロックはされません。



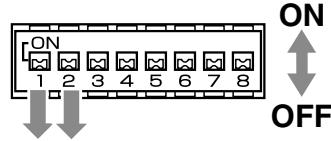
3 SETボタンを押して、グロー時間の設定を変更する



SETボタンを押すごとに、次のようにグロー時間の設定が変更されます。
設定したいグロー時間のブザー音が鳴ったところで、手順4に進みます。



4 通信ユニットの裏のディップスイッチを元に戻す(No.1、No.2をOFF)



通信ユニットから『ビビッ ビビッ ビビッ』と鳴り、グロー時間設定を終了します。

■グロー時間とブザー音

※グロー時間を7.0秒、10.0秒選択時はオルタネータ線の接続が必要です。

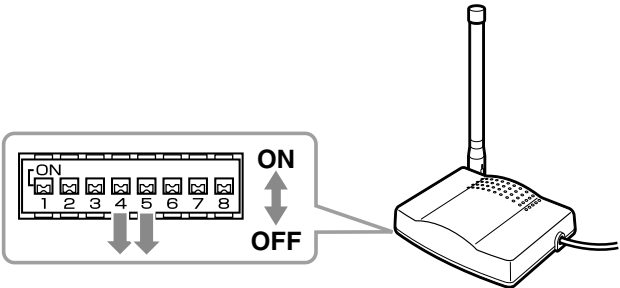
2.0秒	ビッ
3.0秒	ビビッ
5.0秒	ビビビッ
7.0秒	ビビビビッ
10.0秒	ピー

エンジンスターターの設定(VE-S7000のみ)

エンジン始動判定の設定 (設定には専門知識が必要です)

一部特殊な車輛においてエンジン始動判定(ディップスイッチNo.4、5)の設定が必要となる場合がありますが、通常は設定の必要はありません。

※ 工場出荷時は、No.4→OFF側 No.5→OFF側に設定されています。



※指定車以外で本設定を工場出荷時の設定以外に設定しないでください。
指定車以外で本設定を使用すると車輛故障につながる恐れがあります。
指定車について詳しくは、最寄りの弊社サービス窓口またはエンジンスターター相談窓口(0564-45-6515)までお問い合わせください。

エンジンの始動について

車のバッテリーの性能が低下しているときは、キーで始動させる場合に比べ、リモコンでのエンジン始動ができにくくなります。
このようなときはバッテリーを充電するか、新しいものと交換してください。

メモ

- 寒冷地では、オルタネータ線を接続し、バッテリーも大型のものに交換することをおすすめします。
- 車のバッテリー交換を行った場合は再度P・ポジション自動検出機能の確認が必要です。

ターボタイマー機能(VE-S7000のみ)

ターボタイマー機能とは

走行後のアフターアイドルを自動的に行う機能です。
なお、本機はこのターボタイマー機能を通信ユニットのディップスイッチNo.3で使う(ON)使わない(OFF)を設定できます。
アフターアイドルの時間はオート方式です。

■ターボタイマー機能ON時の動作について

ターボエンジン搭載車は、走行後、すぐにエンジンを停止させると、タービンシャフト部の焼き付きを起こす場合があります。ターボタイマー機能はパーキング(P)またはニュートラル(N)にシフトチェンジされると動作し始め、キーを抜いた後も、アフターアイドルを自動的に行い、エンジンを徐々に冷ましたあと、エンジンを停止させます。

※キーでエンジン始動後、シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)以外のポジションに1秒以上移動した場合にターボタイマー機能は動作します。

また、シフトレバーがパーキング(P)または、ニュートラル(N)の位置でないと動作しません。(P・ポジション自動検出)
ただし、P・ポジション自動検出ができない車輦でP・ポジションインジケータランプに接続している場合は、シフトレバーがパーキング(P)の位置のときだけ動作します。シフトポジションを移動したときには動作を停止します。

■オート方式のアフターアイドル時間

走行時間に合わせて、アフターアイドルの時間が自動的に設定されます。

走行時間	アフターアイドル時間
0分間～10分間	約30秒間
10分間～30分間	約1分間
30分間～1時間	約1分30秒
1時間～2時間	約2分間
2時間以上	約3分間

※走行時間はIG(イグニッション)ONからの時間をカウントしています。

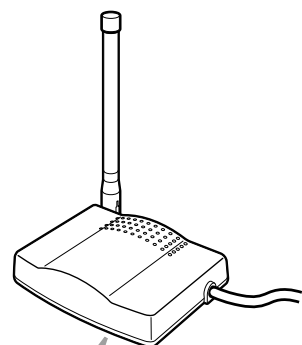
△注意

ご使用になる車種により、まれに正常に働かないことがあります。
このようなときは、ターボタイマー機能の設定を「OFF」にしてご使用ください。

※カーラジオのON/OFFに連動してアンテナが昇降する車では、ターボタイマーが働いてエンジンが停止しても、アンテナが降りないことがあります。

ターボタイマー機能のON/OFF設定

通信ユニットのディップスイッチNo.3を設定することで、ターボタイマー機能のON/OFF設定ができます。



●No.3：ターボタイマー機能の設定

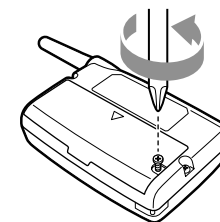
- ・使用する →ON
- ・使用しない→OFF

※工場出荷時はOFF側に設定されています。

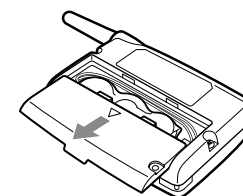
リモコンの電池交換

本機リモコンの専用ニッケル水素電池は、約2年を目安に新しい電池と交換してください。なお、電池交換後はリモコンの電源がOFFになっていますので、「リモコンの電源をONにする」を参照してください。

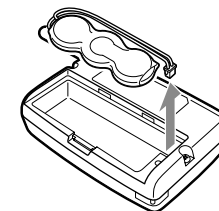
1 リモコンケース裏面のビスを外す



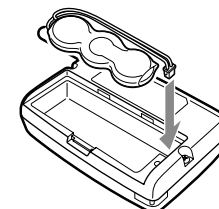
2 電池カバーを開ける



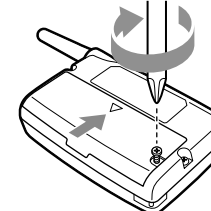
3 電池を取り出す



4 ニッケル水素電池を接続して入れる



5 ビスを締める



※ 電池の寿命は使用条件により大幅に異なります。連続使用時間が短くなったり、充電できなくなった場合は、お早めに交換してください。

＜交換電池品番：BE3/V80H メーカー希望小売価格(税別)1,500円＞

※専用電池のご注文は弊社商品の取り扱いのある販売店でお買い求めください。

※専用電池は取り寄せ品となるため、ご注文から数日かかる場合があります。あらかじめご了承ください。

スリープモードについて

本機は、14日間エンジンを始動(ACCまたはONが検出されない)しないと、車のバッテリーの消耗を防ぐため、スリープモードが働きます。
スリープモードが働くと、本機の機能をすべて停止します。

＜スリープモードを解除するには＞

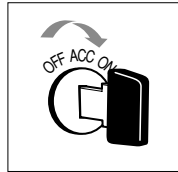
スリープモードを解除するときは、エンジンキーを使用して、ドアを開け、エンジンキーをACCまたはONにしてください。
スリープモードが解除され、本機機能が作動できます。



※別売オプションの無線イモビライザーを取り付けている場合は、本機のセキュリティ監視中に、スリープモードが働いても、無線イモビライザー機能は維持されます。

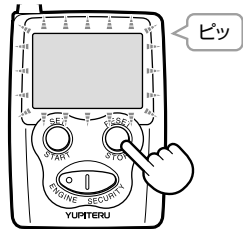
スリープモード状態からエンジンを始動するには(別売無線イモビライザー：A-23SFを接続している場合)

1 スリープモードを解除する
(キーでドアを開け、エンジンキーをACCまたはONにして、OFFに戻す)

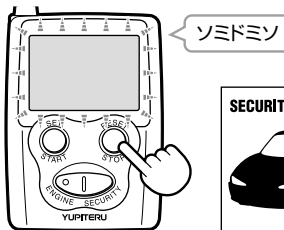


2 『ピッ』と鳴るまでRESETボタンを押す

バックライトが点灯します。



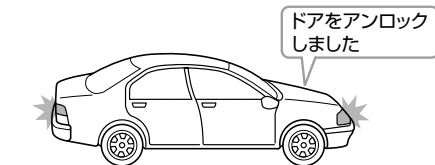
3 バックライト点灯中に、再度RESETボタンを押す



再度RESETボタンを押すと、リモコンが『ソミドミソ』と鳴り、信号が送信されます。

リモコンからの信号を受信すると

ドアがアンロックされるとともに、確認音または音声(ブザー)が鳴り、ハザードランプが2回点滅してセキュリティが解除されます。



- ※一部の車種では、セキュリティの解除操作でドアアンロックができません。
- ※操作の確認方法(31ページ)で、選択した確認方法による動作となります。

安全機能について (VE-S7000のみ)

本機には、次の安全機能があります。

■P・ポジション自動検出

シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)ポジション以外の場合は、エンジンの始動やターボタイマー機能の動作はできません。また、リモコンによる始動後、キーを差し込んだ状態で(ONポジションにキーを回さないまま)シフトチェンジすると、エンジンが停止します。



※一部の車種では、P・ポジション自動検出のできないものや、できないものがあります。このような場合には、フットブレーキまたはP・ポジションインジケータランプへの接続が必要です。接続しないと、本機は動作しません。
フットブレーキに接続した場合は、フットブレーキを踏むとエンジンが停止します。またP・ポジションインジケータランプに接続した場合には、シフトレバーがパーキング(P)の位置以外ではエンジンを始動できません。

■コンライトキャンセル機能

(別売のA-60を使用してコンライト信号線に接続した場合のみ)

オートライト機能搭載車でオートライト設定中でも、アイドリング終了後にライトを消灯させ、バッテリー上がりを防ぐことができます。

※一部の車種において、コンライトキャンセル機能が正常に働かない場合があります。

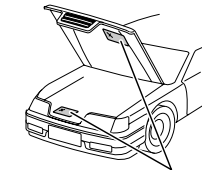
■ドア検出

(別売のA-60を使用してドアスイッチに接続した場合のみ)

エンジンスターター動作中ドアを開くとエンジンが停止します。(アフターアイドリング中は機能しません)

⚠警告

- 整備や車検などで、エンジン部を作業中に、突然エンジンが始動すると大変危険です。万一の事故を防ぐためにも、第三者に車を預けるときは、リモコンの電池を抜いておく、もしくは通信ユニットの接続ケーブルをスターターユニットから外してください。
- 本機の取り付け後、安全のため、付属のステッカーを貼り付ける必要があります。「ご注意ステッカー(大)」は、エンジンルームを開けたときに、第三者にもわかるような目立つ場所に、「ご注意ステッカー(小)」はボンネットオープナーやその付近の目立つ場所に貼り付けられていることを確認してください。



ご注意ステッカー(大)



ご注意ステッカー(小)

車のバッテリー交換や本機の付け替えなどで、バッテリーや車種別専用ハーネスを取りはずした場合は、再度、P・ポジション自動検出機能の確認が必要です。
通信ユニットから『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』という確認音が連続している場合は、以下の手順でP・ポジション自動検出機能の確認を行ってください。(P・ポジション自動検出機能の確認をしないと、本機は動作しません)

ご注意

エンジンスターター機能の設定(36～37ページ)内容を記憶しているため取り付け車を変更した場合は再設定が必要です。

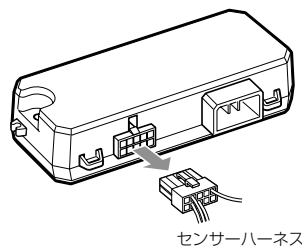
パーキング(P)・ポジション自動検出機能の確認

接続が終わっても、スターターユニットを完全に固定する前に、バッテリーのマイナス端子をつないで、それぞれの接続が正しく行われていることを確認してください。

本機はP・ポジション自動検出機能の確認をしないと、動作しません。
一部の車種では、P・ポジション自動検出できないものや、できにくいものがあります。

ご注意

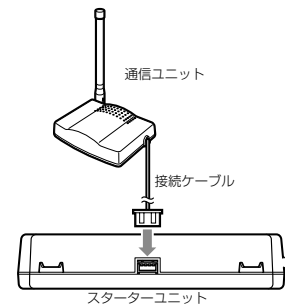
パーキング(P)・ポジション自動検出機能の確認作業は、必ず、センサーハーネスを外した状態で行ってください。(ブレーキ検出線が接続された状態では、正しく検出できません)



センサーハーネス

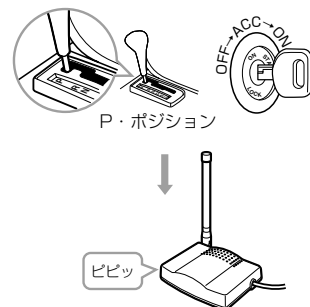
- 1 通信ユニットの接続ケーブルをスターターユニットに接続する
約3秒後に接続の確認を開始します。確認が終了すると『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』という確認音が連続して鳴ります。

※ 確認音が鳴らない場合は、専用ハーネスのアース線の接続場所を、確認音が鳴る場所に変更してください。



P・ポジション自動検出ができない場合は45ページをご覧ください。

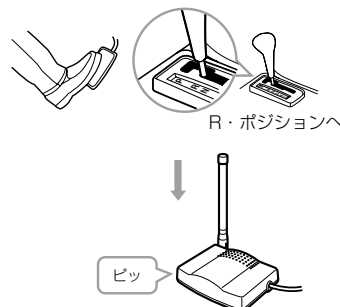
- 2 シフトレバーがパーキング(P)・ポジションになっていることを確認し、キーを差し込んで、OFF→ACC→ONと切り換える
通信ユニットから約3秒後に『ピピ』という音が鳴ります。



- 3 ブレーキを踏んでシフトレバーをパーキング(P)・ポジションからリバース(R)・ポジションに切り換える
通信ユニットが約3秒後に『ピッ』と鳴ります。

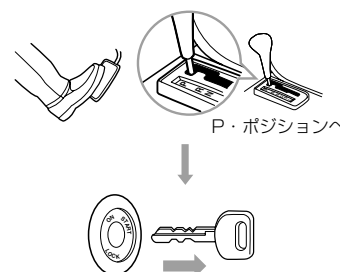
P・ポジション自動検出機能を使用できることが確認できました。

※ 何も音がしない場合は、P・ポジション自動検出機能は使用できません。
シフトレバーをP・ポジションに戻し、キーを抜いて45ページをお読みください。



- 4 シフトレバーをパーキング(P)・ポジションに戻す
約2秒後に通信ユニットが『ピー』と鳴ることを確認し、キーを抜きます。

※ 何も音がしない場合は、専用ハーネスの種類とアース線の接続場所を、再度確認してください。



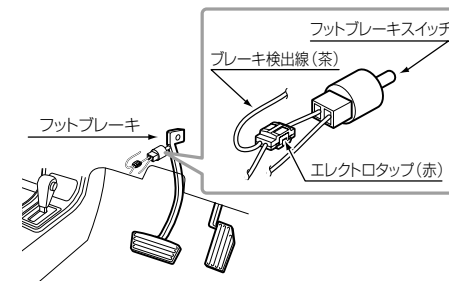
以上で初期設定は終了です。センサーハーネスを接続して必要に応じてエンジンスターター機能の設定を行ってください。

P・ポジション自動検出機能が使用できない状態でターボタイマー機能を使用しない場合の接続・設定

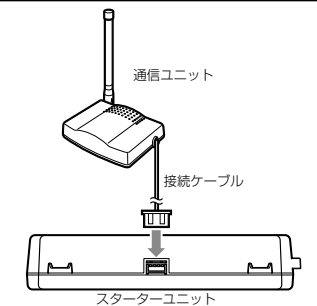
フットブレーキスイッチ配線にブレーキ検出線(茶)を接続します

ブレーキペダルを踏んで12V、離して0Vまたはブレーキペダルを踏んで0V、離して12Vに電圧が変化することを確認してください

※ 接続先は、サーキットテスターで確認してください。



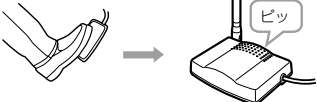
- 1 センサーハーネスを接続し、通信ユニットの接続ケーブルをスターターユニットに接続する



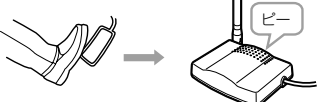
- 2 シフトレバーがP・ポジションになっていることを確認し、ブレーキペダルは踏まずにキーを差し込んで、OFF→ACC→ONと切り換える



- 3 ブレーキペダルを踏む
通信ユニットが『ピッ』と鳴ります。



- 4 ブレーキペダルから足を離す
通信ユニットが『ピー』と鳴ります。



以上でP・ポジション検出は終了です。途中で確認音が鳴らない場合は車種別専用ハーネス、アース線の接続を確認してください。

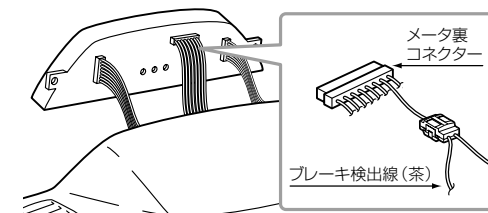
以上で初期設定は終了です。必要に応じてエンジンスターター機能の設定を行ってください。

P・ポジション自動検出機能が使用できない状態でターボタイマー機能を使用する場合の接続・設定

P・ポジションインジケータランプの配線にブレーキ検出線(茶)を接続します

シフトをパーキング(P)の位置にしたとき12V、パーキング(P)以外で0Vまたはシフトをパーキング(P)の位置にしたとき0V、パーキング(P)以外で12Vに電圧が変化することを確認してください。

※ 接続先は、サーキットテスターで確認してください。



スターターユニットのコネクター2にセンサーハーネスを接続し、「パーキング(P)・ポジション自動検出機能の確認」(44ページ)に戻ってP・ポジション検出を行ってください。

メモ

接続場所について詳しくは、弊社FAX情報ダイヤルでご確認ください。

別売オプション

Aguilas VE-S7000/S1000は、次のようなオプションを接続することにより、独自のセキュリティシステムを構築することができます。

オプション単体では、自動車用盗難警告・警報装置として機能しません。

セキュリティオプション

無線イモビライザー：A-23SF

セキュリティ作動中、エンジンキーや模造キーではエンジンをかけられないようにして、車輛の盗難を防止します。本機リモコンでセキュリティを解除すると、無線イモビライザー機能も解除されます。

※本機のアクセサリ電源線を車輛のイグニッションラインに接続した場合は、無線イモビライザーとの併用はできません。

メモ

- 無線イモビライザー機能は、本機のセキュリティを作動(SET)後、スタンバイ時間中やスリープモードが働いた場合でも維持されます。
- ユビテルのエンジンスターターを併用する場合は、本機の接続部位(STライン切断部位)よりも車側に、エンジンスターターを接続してください。(取付・接続説明書をご覧ください)セキュリティ作動中でも、エンジンスターターでエンジンを始動し、アイドリングをさせることができます。(アイドリングを開始すると、無線イモビライザー以外の機能は解除されます)

●メーカー希望小売価格(税、取付費別) 5,800円

大音量サイレン：A-26SF

警報音を大音量(125dB)にできます。本機のボイスユニットに接続するだけ(車室内への引き込みは不要)で、警報音をパワーアップできます。最大音圧125dB

●メーカー希望小売価格(税、取付費別) 7,800円

バックアップサイレン：A-27SF

警報音を大音量(125dB)にできます。さらにサイレンにバックアップ充電池を内蔵していますので、万一ボイスユニットの破壊やサイレンの切断があっても、警報を鳴らし続けることができます。本機のボイスユニットに接続するだけ(車室内への引き込みは不要)で、警報音をパワーアップできます。最大音圧125dB

※ボイスユニットの破壊やサイレンの切断時の警報音は6音色の警報が鳴ります。

●メーカー希望小売価格(税、取付費別) 13,800円

電子傾斜センサー：A-28SF

セキュリティが作動したときからの傾斜角変化を検知しますので、傾斜地に駐車した場合などでも、正確に車輛の前後、左右1度以上の傾きを検知できます。タイヤ、ホイールの盗難防止、車輛の盗難防止に役立ちます。

傾斜を検知すると『ピピピッ』、『傾斜を検知しました。通報します』の警告の後、警報音『キューキューキュー』が設定時間鳴り、フラッシュランプ、ハザードランプが連続して点滅します。

●メーカー希望小売価格(税、取付費別) 17,800円

ボンネットスイッチ：A-29SF

ボンネットが開かれたことを検知します。本機付属のボイスユニットに接続するだけ(車室内への引き込みは不要)で、ボンネットの開閉を検知してサイレンを鳴らします。

※ボンネットスイッチが異常を検知した場合、全て警報となります。警告に設定することはできません。

●メーカー希望小売価格(税、取付費別) 1,000円

ドアスイッチ接続線セット：A-30SF

車輛すべてのカーテシ(ドアスイッチ)に分岐するドアスイッチ接続線の4本セットです。

●メーカー希望小売価格(税、取付費別) 2,000円

※オプションの仕様は予告なく変更することがあります。詳しくはカタログをご覧ください。

警告

取り付けには専門知識が必要です。誤った取り付けは、機器を破損するばかりでなく、重大事故の原因となります。取り付けは、お買い上げの販売店またはカーディーラーにご依頼ください。お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

VE-S7000専用オプション

コンライトキャンセル機能

(別売のA-60を使用して、コンライト信号線に接続した場合のみ)

オートライト機能搭載車での使用時に、オートライト設定中でもアイドリング終了後にライトを消灯させバッテリーあがりを防ぎます。

※一部の車輛において、コンライトキャンセル機能が正常に働かない場合があります。

●メーカー希望小売価格(税、取付費別) 900円

イモビ対応アダプター

(別売のイモビ対応アダプターを接続した場合のみ)

車輛純正のイモビライザー装着車に本機を取り付けるためのアダプターです。

本機取り付けにより、車輛のイモビライザー機能を損なうことはありません。

※エンジンスターターでの始動を除いて、車輛純正のイモビライザー機能は正常に動作します。

※イモビ対応アダプターは指定車種専用オプションです。ご使用になるアダプターが取り付け車の対応品であることをご確認ください。また、イモビ対応アダプターは順次対応予定です。最新情報は弊社ホームページまたは車種別専用ハーネス適応表でお確かめください。

- 弊社HPアドレス <http://www.yupiteru.co.jp/>
- i-mode専用サイト <http://www.yupiteru.co.jp/i/>

ドア検出

(別売のA-60を使用して、ドアスイッチに接続した場合のみ)

エンジンスターター動作中ドアを開くと、エンジンが停止します。(アフターアイドリング中は機能しません)

●メーカー希望小売価格(税、取付費別) 900円

※オプションの仕様は予告なく変更することがあります。詳しくはカタログをご覧ください。

警告

取り付けには専門知識が必要です。誤った取り付けは、機器を破損するばかりでなく、重大事故の原因となります。取り付けは、お買い上げの販売店またはカーディーラーにご依頼ください。お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にご相談ください。

セキュリティ機能について

Q

セキュリティが作動しない。

A

- セキュリティの作動を開始する条件(34ページ参照)が「セキュリティの作動をすべて禁止」に設定されていませんか？
…セキュリティの作動を開始する条件(34ページ参照)を「セキュリティの作動をすべて禁止」以外に設定してください。
- スタンバイ時間が経過していますか？
…スタンバイ時間が経過するまで待つ。スタンバイ時間(監視モードに入るまでの時間)は10秒/60秒/3分/5分から選択できます。
(「スタンバイ時間」34ページ参照)
- 電池が消耗していませんか？
…バッテリー残量表示をご確認ください。(「リモコンを充電する」19ページ参照)
- 電池が正しく入っていますか？
…正しく電池をセットしてください。(「リモコンの電池交換」41ページ参照)
- 車と離れすぎではありませんか？
…電波の届く範囲内でリモコンの操作を行ってください。
- 配線や接続が正しく行われていますか？
…メインユニットのアース線が塗装されていないビスなどに正しく接続されているか確認してください。
…アクセサリ電源(ACC)の青色線がキーと連動してON/OFFするアクセサリの電源に正しく接続されているか確認してください。
- 車のバッテリーが弱っていませんか？
…バッテリーを充電するか、新品と交換してください。
- スリープモードが働いていませんか？
…一度、エンジンキーをACCまたはONにしてください。
(「スリープモードについて」42ページ参照)

Q

車輦へ接近しても、衝撃を与えても警告しない。

A

- 誤動作判別精度や監視エリアの調整が正しく設定されていませんか？
…「誤動作判別精度」(33ページ)、「マイクロ波センサーユニットの感度調整」(35ページ)を参照のうえ、動作を確認してください。改善が見られない場合は、販売店にご相談ください。
- セキュリティが監視状態になっていますか？ セキュリティ作動後、監視に入るのは、スタンバイ時間(10秒/60秒/3分/5分)経過後です。
…セキュリティを作動し、スタンバイ時間経過後に動作を確認してください。(「スタンバイ時間」34ページ参照)
- スリープモードが働いていませんか？
…一度、エンジンキーをACCまたはONにしてください。
(「スリープモードについて」42ページ参照)

Q

異常がないのに、警報が鳴る。

A

- 誤動作判別精度や監視エリアの調整が正しく設定されていませんか？
…「誤動作判別精度」(33ページ)、「マイクロ波センサーユニットの感度調整」(35ページ)を参照のうえ、動作を確認してください。改善が見られない場合は、販売店にご相談ください。
- スタンバイ時間が、車に合わせて正しく設定されていますか？
…電動ファン搭載車やターボタイマーを取り付けている車でお使いになる場合は、ファンが回り続ける時間やターボタイマーのアフターアイドルリング時間を見込んで、スタンバイ時間を設定してください。
(「スタンバイ時間」34ページ参照)

Q

キーでエンジンがかからない。

A

- 無線イモビライザー機能が働いていませんか？(別売オプションの無線イモビライザーを取り付けている場合)
…本機リモコンでセキュリティを解除してください。
別売オプションの無線イモビライザーを取り付けている場合は、本機リモコンでセキュリティを解除しないとキーでエンジンをかけることはできません。
(「スリープモードについて」42ページ参照)

リモコン動作について

Q

リモコンのボタンを押しても、送信表示しない。

A

- リモコンの電源がONになっていますか？
…リモコンの電源をONにしてください。(「リモコンを充電する」19ページ参照)
- 電池が消耗していませんか？
…バッテリー残量表示をご確認ください。(「リモコンを充電する」19ページ参照)
- リモコン操作を誤っていませんか？
…リモコンの操作方法をご確認ください。
セキュリティ作動(20ページ参照)
セキュリティ解除(25ページ参照)
エンジン始動(VE-S7000のみ)(26ページ参照)
エンジン停止(VE-S7000のみ)(27ページ参照)

Q

リモコン操作できる距離が短い。

A

- 通信ユニットのアンテナの近くに金属(ビラー)などがあると、通信距離が短くなります。金属部より5cm以上離れた場所に取り付けてください。また、通信ユニットのアンテナが、十分に伸びているか、ご確認ください。
- リモコンのアンテナに手を触れていませんか？
- 通信ユニット(車)とリモコンの間に、障害物がありませんか？
- チェーンやカギ、金属性アクセサリなどにより通信エラーを発生する場合があります。

Q

送信はできるが、アンサーバックがない。

A

- 周囲の電波状況によっては、通信ユニットの電波がリモコンに届かない場合があります。
- リモコンの電池残量が少ないと、アンサーバックを表示しません。リモコンを充電してください。(「リモコンの準備」19ページ参照)

Q

『ブブブブブ』または『ピーー』のアラームが鳴るが、異常を示す表示がない。

A

電波状態が悪くないですか？ 電波状態が悪い場所では、圏外アラームまたは妨害電波アラームでお知らせします。(「ディスプレイの表示内容」13ページ参照)

Q

接近を検知しても、通報音が鳴らない。

A

接近通報キャンセル機能(22ページ参照)が設定されていませんか？

Q

異常を検知すると、車輦側の警告・警報は鳴るが、リモコンに通報しない。

A

リモコンが通報待ち受け状態(SEcurity ONが表示されている)になっていますか？ (「セキュリティの作動を確認する」19ページ参照)

キーレスエントリー機能について

Q

ドアロック、アンロックが動作しない。

A

車によってはキーを使用してドアをロックした場合は、ドアをアンロックできない場合があります。また、エンジンがかかっている状態でキーレス機能を使用できません。(工場出荷時の設定)
※ドアロック機能の動作設定の変更は、取付店にご相談ください。
※本機設定にかかわらず、エンジンがかかっている状態でキーレス機能を停止する車輦があります。このような車輦では、エンジンを停止してから、キーレス機能をご使用ください。

Q

ドアをアンロックしても、しばらくするとロックしてしまう。

A

本機リモコンでドアアンロック操作後、20秒経過してもドアの開閉やエンジンキーがACCにならないと、再度ドアロックするとともに、セキュリティを作動させるリロック機能を備えています。リロック機能の設定・解除の変更は、取付店にご相談ください。

その他

Q

車を使用する頻度が少なく、バッテリー上がりが心配。

A

14日以上、車の利用がないと、スリープ機能により本機機能を停止して、電流消費を抑えます。
スリープ機能が働くと、リモコンでの操作ができません。キーを使用してACCにすると解除されます。(「スリープモードについて」42ページ参照)

エンジンスターター機能について(VE-S7000のみ)

Q
リモコン操作でエンジンの始動や停止ができない。(ERROR表示は出ない場合)

A
リモコンでのエンジンスタートができない場合は、以下の事項についてご確認ください。

- 受信表示しない
- キーでエンジンを始動していませんか？
 - 電池が消耗していませんか？
バッテリー残量表示をご確認ください。(「リモコンを充電する」19ページ参照)
 - 通信ユニットの接続ケーブルが外れていませんか？接続の確認をしてください。
 - スリープ機能が働いていませんか？(「スリープモードについて」42ページ参照)
 - 車と離れすぎていませんか？
 - パーキング(P)・ポジション自動検出ができていますか？(44ページ参照)
 - それぞれのコネクタースターターユニットにしっかり接続されていますか？

- 受信表示する
- シフトレバーがパーキング(P)になっていますか？
 - 車のバッテリーが弱っていませんか？
 - キー操作でエンジンが始動しますか？
 - 通信ユニットが正しく設定されていますか？(15ページの工場出荷時の設定参照)
 - それぞれのコネクタースターターユニットにしっかり接続されていますか？

ターボタイマー機能(VE-S7000のみ)

Q
ターボタイマーが働かない。

A
ターボタイマー機能はP・ポジション自動検出ができた場合、またはP・ポジションインジケータランプにブレーキ線を接続している場合で通信ユニットのディップスイッチNo.3をONに設定しているときに(15ページ参照)使用できます。また、ターボタイマーの機能は、シフトレバーがパーキング(P)にセットされた時点から開始されますので、シフトレバーをパーキング(P)に入れる前に車のエンジンを切ったり、パーキング(P)のままアフターアイドルリング時間が経過すると、ターボタイマー機能は動作しません。

Q
アフターアイドルリング時間が短い。

A
ターボタイマー機能は、シフトレバーがドライビング(D)ポジションからパーキング(P)またはニュートラル(N)ポジションに入った時点から電気的には開始されています。よって走行後、パーキングまたはニュートラルポジションからキーOFFまでの時間は、アフターアイドルリング時間としてカウントされます。

Q
気候が寒くなってきたら、エンジンがかからなくなった。

A
気温が低いと、エンジン自体のかかりが悪いため、セル時間を少しながめに設定してみましょう。(「セル時間設定」36ページ参照)

Q
エンジンはかかるがすぐ停止してしまう。

A
エンジンの始動検出ができていないためです。オルタネータ線を接続してください。

Q
通信ユニットを操作していたら、エンジンがかからなくなってしまった。

A
エンジンスターターの設定が変更されてしまった可能性があります。取り付け販売店にご相談ください。

Q
付属のブレーキ検出線、オルタネータ線は接続するの？

A
ブレーキ検出線は、P・ポジション自動検出ができた車には接続する必要はありません。(P・ポジション自動検出ができた車に接続すると、誤動作する場合があります)
また、オルタネータ線は始動検出ができる場合は特に必要ありませんが、冬場など、寒い季節になると始動検出ができにくくなる車があります。

エラー音について (VE-S7000のみ)

通信ユニットが以下のようなブザー音を発しているときには、その処置方法に従って操作してください。
その他の処置方法が明記されていないエラー音につきましては、弊社サービス窓口またはエンジンスターター相談窓口にご相談ください。

本機は取り付け作業時およびエンジンスタート機能やターボタイマー機能が動作しない場合、本機のリモコンを使ってエンジンを始動させる操作をした後や、ターボタイマー機能未動作時に通信ユニットから鳴る音(エラー音)により、不具合を起こしている場所がわかります。
本機の動作に不具合があったときは、この「エラー音」を確認して、取付店または弊社で相談窓口にお問い合わせください。

エラー音	不具合の検出
ビビピッ	P・ポジションの検出ができていません。(44ページ参照)
ビー　　ビー　　ビッピッピッ	エンスト検出
ビー　　ビー　　ビー	エンジン始動異常
ビー　　ピッ	エンジンスタータ動作中断時 P・ポジション検出
ビー　　ピッピッ	エンジンスタータ動作中断時 プレーキ検出
ビー　　ピッピッピッピッ	エンジンスタータ動作中断時 ドア検出
ビー　　ビー	エンジンスタータ動作中断時 電圧異常
ビー　　　ビー　　ピッ	エンジンスタータ動作中断時 オルタネータ異常
ビビピッ　　ピッ	ターボタイマー動作中断時 溶着検出
ビビピッ　　ビッピッピッ	ドア制御中断時 ドア開検出

VE-S7000

■メインユニット

電源電圧	12V車専用(9～15V)
消費電流	スリープ時：約8.5mA 待機時：約31mA
動作温度範囲	－20℃～＋60℃
寸法	127mm(W)×28mm(H)×87mm(D) (ケーブル含まず)
重量	144g(ケーブル含まず)

■スターターユニット

電源電圧	12V専用(9～15V)
動作温度範囲	－20℃～＋80℃
寸法	138mm(W)×28mm(H)×63mm(D) (ケーブル含まず)
重量	126g(ケーブル含まず)

■通信ユニット

適合技術基準	特定小電力無線局テレコントロール用無線設備
使用周波数帯	420MHz帯
電波型式	F2D
送信出力	10mW
送信時間制御	送信時間：3秒以内 送信休止時間：2秒以上

動作温度範囲	－20℃～＋80℃
寸法	89.8mm(W)×59.7mm(H)×19.5mm(D) (ケーブル含まず)
重量	129g(ケーブル含む)

■マイクロ波センサーユニット

適合技術基準	特定小電力無線局移動体検知センター用無線設備
発振周波数/出力	24.15GHz/10mW以下(技術基準適合品)
動作温度範囲	－40℃～＋85℃
寸法	37mm(W)×33mm(H)×52mm(D)
重量	84g(ケーブル含む)

■フラッシュユニット

動作温度範囲	－40℃～＋85℃
寸法	51mm(W)×14.5mm(H)×34mm(D)
重量	63g(ケーブル含む)

■ボイスユニット

最大音圧	サイレン：100dB/m ボイス：89dB/m
動作温度範囲	－40℃～＋85℃
寸法	91mm(W)×113.5mm(H)×39mm(D)
重量	334g(ケーブル含む)

■リモコン

適合技術基準	特定小電力無線局テレコントロール用無線設備
使用周波数帯	420MHz帯
電波型式	F2D
送信出力	10mW
送信時間制御	送信時間：3秒以内 送信休止時間：2秒以上

使用電池	専用ニッケル水素電池(3.6V)
動作温度範囲	－10℃～＋50℃
寸法	44.0mm(W)×92.0mm(H)×20.6mm(D)
重量	52.1g(電池含む)

VE-S1000

■メインユニット

電源電圧	12V車専用(9～15V)
消費電流	スリープ時：約5mA 待機時：約28mA
動作温度範囲	－20℃～＋60℃
寸法	127mm(W)×28mm(H)×87mm(D) (ケーブル含まず)
重量	144g(ケーブル含まず)

■通信ユニット

適合技術基準	特定小電力無線局テレコントロール用無線設備
使用周波数帯	420MHz帯
電波型式	F2D
送信出力	10mW
送信時間制御	送信時間：3秒以内 送信休止時間：2秒以上

動作温度範囲	－20℃～＋80℃
寸法	89.8mm(W)×59.7mm(H)×19.5mm(D) (ケーブル含まず)
重量	128g(ケーブル含む)

■マイクロ波センサーユニット

適合技術基準	特定小電力無線局移動体検知センター用無線設備
発振周波数/出力	24.15GHz/10mW以下(技術基準適合品)
動作温度範囲	－40℃～＋85℃
寸法	37mm(W)×33mm(H)×52mm(D)
重量	84g(ケーブル含む)

■フラッシュユニット

動作温度範囲	－40℃～＋85℃
寸法	51mm(W)×14.5mm(H)×34mm(D)
重量	63g(ケーブル含む)

■ボイスユニット

最大音圧	サイレン：100dB/m ボイス：89dB/m
動作温度範囲	－40℃～＋85℃
寸法	91mm(W)×113.5mm(H)×39mm(D)
重量	334g(ケーブル含む)

■リモコン

適合技術基準	特定小電力無線局テレコントロール用無線設備
使用周波数帯	420MHz帯
電波型式	F2D
送信出力	10mW
送信時間制御	送信時間：3秒以内 送信休止時間：2秒以上

使用電池	専用ニッケル水素電池(3.6V)
動作温度範囲	－10℃～＋50℃
寸法	44.0mm(W)×92.0mm(H)×20.6mm(D)
重量	52.1g(電池含む)

※ 仕様や外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

■保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げの日から1年間です。(消耗部品を除く)

■修理を依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」の点検をしていただいても、なお異常のあるときは、故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

●保証期間中のとき
恐れ入りますが、お買い上げの販売店に、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき
取り付け販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

■アフターサービスなどについてご不明な点は

お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

■リモコンの紛失、破損について

リモコンを紛失や破損したときは、弊社商品の取り扱いのある販売店で新たなリモコンをお買い求めいただけます。

※リモコンは取り寄せ品となるため、ご注文から数日かかる場合があります。あらかじめご了承ください。

※新しいリモコンのご使用にあたっては、メインユニットにIDコードを登録する必要があります。詳しい手順は追加リモコン付属の説明書をご覧ください。また、新たなリモコンを登録すると、今までご使用になっていたリモコンは使用できません。

「取付・接続説明書」や本書にしたがった、正常な取り付け・接続、使用状態で製品に故障が生じた場合は、製品の保証書にしたがって修理いたします。
また、本機取り付けによる車輛や車載品の故障、事故などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

<無料修理規定>

1. 表面記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
(イ)使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ)お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
(ニ)特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
(ホ)故障の原因が本製品以外にある場合
(ヘ)本書のご提示がない場合
(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(チ)付属品や消耗品等の消耗による交換
(リ)お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

故障内容記入欄

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。
※弊社営業所・サービス部は54ページをご覧ください。

ユピテルご相談窓口一覧

お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

取付、取扱方法に関するお問い合わせ

受付時間 10:00~18:00 (年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター **TEL. (0564)45-6515**
電子メールでのお問合せ先 **service@yupiteru-pro.com**

取扱方法、修理依頼、販売店の紹介に関するお問い合わせ

受付時間 9:00~17:30 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

地 区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL. (011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北八条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL. (022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部 TEL. (03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・長野・福井	名古屋営業所・サービス部 TEL. (052)769-1601 〒465-0092 愛知県名古屋市中東区社台3-181
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部 TEL. (06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部 TEL. (082)230-1711 〒733-0001 広島県広島市西区大芝2-9-2
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL. (092)552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

- 上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

保証書

(持込修理)

本書は、本書記載内容(裏面記載)で、
無料修理を行うことを、お約束するもの
です。

保証期間中に、正常なご使用状態で、
故障が発生した場合には、本書をご提
示のうえ、お買い上げの販売店に修理
をご依頼ください。

品 番		VE-S7000/1000 (マイクロセンサー型レーダーセキュリティシステム)	
S/No.			
お買い上げ日			
保 証 期 間		お買い上げ日より1年 (消耗部品を除く)	
お客様	お名前	様	
	ご住所	〒	
販売店	店名・住所	TEL.()	
	上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。		

無効